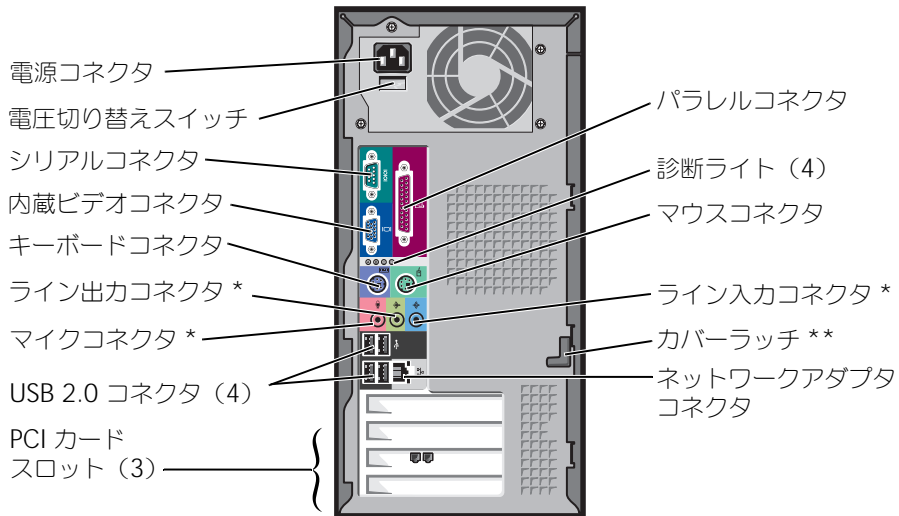
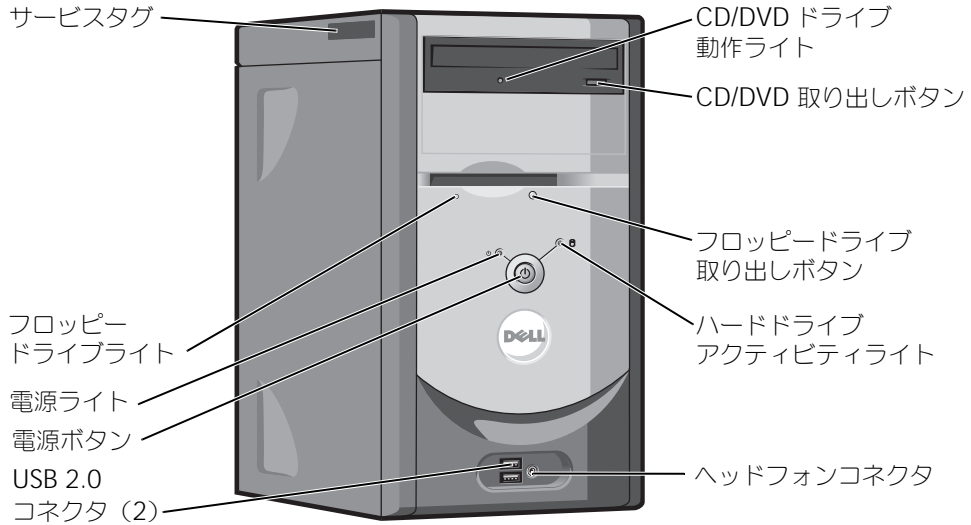


オーナーズマニュアル



* オンボードサウンド機能が搭載されている機種に適用します。

** すべてのコンピュータに搭載されているわけではありません。

モデル DMC

メモ、注意、警告



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の一覧表は、『Dell Dimension ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、7 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。
© 2005 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複写は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL ロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、PowerVault、PowerApp、PowerConnect および Dell OpenManage は Dell Inc. の登録商標で、Intel、Pentium および Celeron は Intel Corporation の登録商標で、Microsoft、Windows および Outlook は Microsoft Corporation の登録商標です。

本書では、上記記載以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

モデル DMC

目次

情報の検索方法	7
1 コンピュータのセットアップと使い方	
AC プラグアダプタの接続	9
プリンタのセットアップ	10
プリンタケーブル	10
USB プリンタの接続	10
パラレルプリンタの接続	11
家庭用および企業用ネットワークのセットアップ	11
ネットワークアダプタへの接続	11
ネットワークセットアップウィザード	12
インターネットへの接続方法	12
インターネット接続のセットアップ方法	13
CD および DVD のコピー	14
CD または DVD のコピーの仕方	14
空の CD および DVD の使い方	14
便利なヒント	15
ハイパースレディング	16
2 問題の解決	
トラブルシューティングのヒント	17
バッテリーの問題	17
ドライブの問題	17
CD および DVD ドライブの問題	18
ハードドライブの問題	19
E-メール、モデムおよびインターネットの問題	19
エラーメッセージ	20
IEEE 1394 デバイスの問題	21
キーボードの問題	22
ロックアップおよびソフトウェアの問題	22
コンピュータが起動しない	22
コンピュータが応答しない	22

プログラムが応答しない	23
プログラムが繰り返しクラッシュする	23
プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム向けに 設計されている	23
青一色の画面（ブルースクリーン）が表示される	23
その他のソフトウェアの問題	24
メモリの問題	24
マウスの問題	25
ネットワークの問題	25
電源の問題	26
プリンタの問題	27
スキャナーの問題	28
サウンドおよびスピーカーの問題	28
スピーカーから音がしない場合	28
ヘッドフォンから音がしない場合	29
ビデオとモニターの問題	29
画面に何も表示されない場合	30
画面が見づらい場合	30

3 詳細なトラブルシューティング

診断ライト	31
Dell Diagnostics（診断）プログラム	35
Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー	36
ドライバ	37
ドライバとは？	37
ドライバの識別	37
ドライバの再インストール	38
お使いのオペレーティングシステムの復元	39
Windows XP システムの復元	39
Symantec による Dell PC の復元の使い方	40
オペレーティングシステム CD の使い方	42
ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決	43

4 部品の取り外しと取り付け

作業を開始する前に	45
奨励するツール	45
コンピュータの電源を切る	45
コンピュータ内部の作業を始める前に	46
コンピュータの正面図および背面図	47
正面図	47
背面図	49
コンピュータカバーの取り外し	51
コンピュータの内部	52
システム基盤コンポーネント	53
メモリ	54
DDR メモリの概要	54
メモリの取り付けガイドライン	54
メモリの取り付け	55
カード	57
PCI カード	57
フロントパネル	60
フロントパネルの取り外し	60
ドライブベイカバーの取り外し	62
前面パネルの再取り付け	63
ドライブ	63
一般的な取り付けガイドライン	64
ドライブケーブルの接続	64
ハードドライブ	65
ハードドライブの取り外し	65
ハードドライブの取り付け	67
フロッピードライブ	68
フロッピードライブの取り外し	68
フロッピードライブの取り付け	69
CD/DVD ドライブ	70
CD/DVD ドライブの取り外し	70
CD/DVD ドライブの取り付け	72
2 台目の CD または DVD ドライブの追加	72
バッテリー	75
コンピュータカバーの交換	76

5 付録	
仕様	77
セットアップユーティリティ	80
概要	80
セットアップユーティリティの起動	81
セットアップオプション	82
起動順序	85
忘れたパスワードの消去	86
デルへのお問い合わせ	88
索引	89

情報の検索方法

何をお探しですか？

- 安全にお使いいただくための注意
- 認可機関の情報
- 作業姿勢に関する情報
- エンドユーザーライセンス契約
- 条件

ここに記載されています

Dell™ 製品情報ガイド



-
- コンピュータのセットアップ方法

セットアップ図



-
- Microsoft® Windows® XP の使用に関するヒント
 - CD および DVD の使用方法
 - スタンバイモードおよび休止状態モードの使用法
 - 画面解像度の変更方法
 - コンピュータのクリーニング方法

Dell Dimension ヘルプファイル

- 1** スタート ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2** **ユーザーズガイド**および**システムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。
- 3** **Dell Dimension ヘルプ** をクリックします。

何をお探しですか？

- サービスタグとエクスプレスサービスコード
- Microsoft Windows ライセンスラベル

ここに記載されています**サービスタグおよび Microsoft Windows ライセンス**

これらのラベルは、お使いのコンピュータに貼付されています。

- **support.jp.dell.com**

を利用したり、テクニカルサポートにお問い合わせになる際に、サービスタグを使ってお使いのコンピュータを識別します。

- エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。エクスプレスサービスコードは、国によって利用できないことがあります。



- コンピュータ用のドライバ
- テクニカルサービスおよびサポートに関する質問の回答
- コンピュータのマニュアル

デルサポートサイト — support.jp.dell.com

メモ：適切なサポートサイトを表示するには、お住まいの地域を選択します。

デルサポートサイトには、以下のツールを含むいくつかのオンラインツールがあります。

- ソリューション — トラブル解決ナビ、Q&A
- カスタマーケア — 問い合わせ先、ご注文の状況、保証、および修理に関する情報
- ダウンロード — ドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート
- 参考資料 — コンピュータのマニュアル、製品仕様、およびホワイトペーパー

- Windows XP の使い方
- コンピュータのマニュアル
- デバイス（モデムなど）のマニュアル

Windows ヘルプとサポートセンター

- 1 スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
- 問題に関連するトピックをクリックします。
- 画面に表示される指示に従ってください。

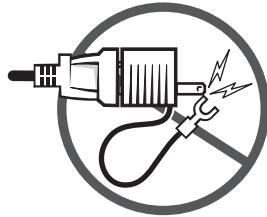
コンピュータのセットアップと使い方

AC プラグアダプタの接続

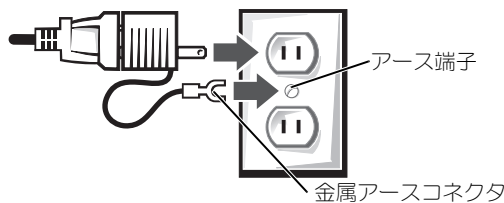
⚠ 警告：この項の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従ってください。

- 1 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従います。
- 2 AC プラグアダプタを AC 電源ケーブルのプラグに接続します。

⚠ 警告：緑色のアース線をコンセントに接続する場合、絶対に緑色のアース線と電源プラグの先端部とを接触させないでください。感電、発火、またはコンピュータが損傷する恐れがあります（以下の図を参照）。



- 3 緑色のアース線をコンセントに接続しない場合は、手順 5 に進みます。
- 4 金属アースコネクタをコンセントのアース端子に接続します（以下の図を参照）。
 - a アース端子のネジを緩めます。
 - b 金属アースコネクタをアース端子の後ろ側に挿入し、アース端子のネジを締めます。



- 5 AC 電源ケーブルをコンセントに接続します。

プリンタのセットアップ

注意：オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け
- プリンタの製造元からのテクニカルサポート

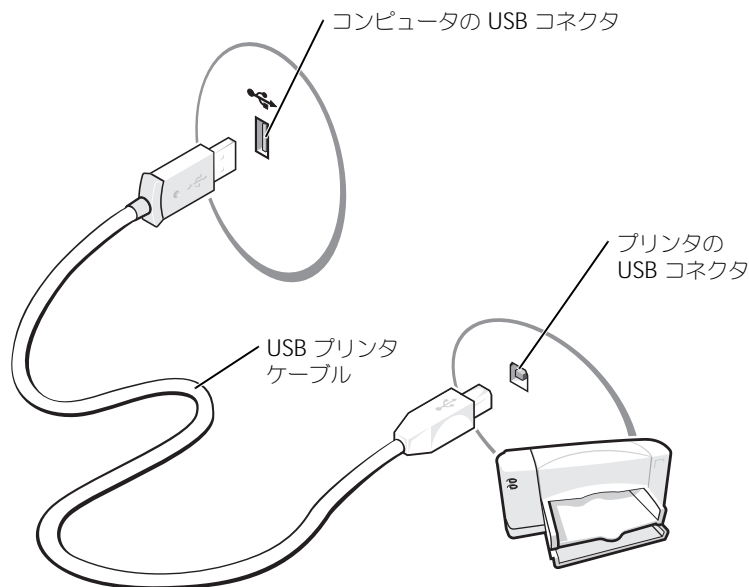
プリンタケーブル

USB ケーブルまたはパラレルケーブルのどちらかを使って、プリンタをコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタと互換性があることを確認してください。コンピュータと一緒にプリンタケーブルを購入された場合は、ケーブルはコンピュータの箱に同梱されています。

USB プリンタの接続

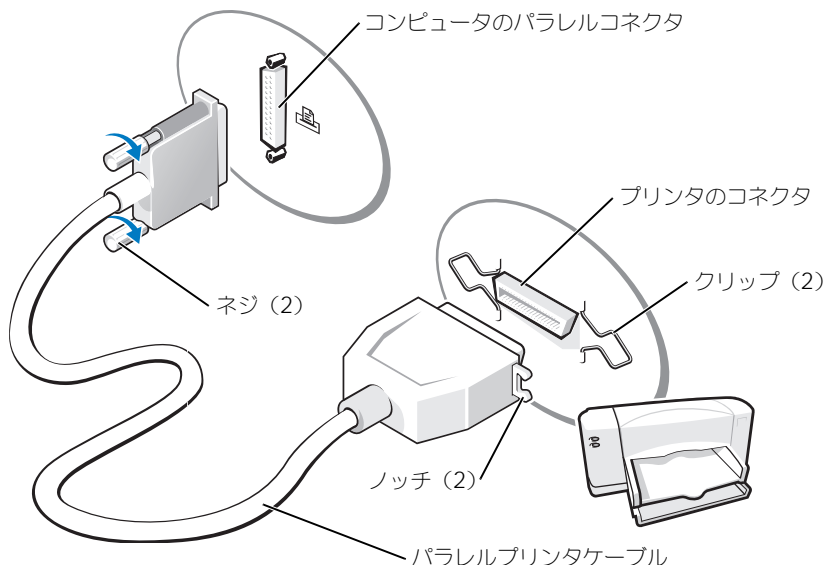
メモ：USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも接続することができます。

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。
- 2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。
- 3 コンピュータとプリンタの USB コネクタに USB プリンタケーブルを差し込みます。USB コネクタは一定の方向にしか差し込めません。



パラレルプリンタの接続

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合、セットアップを完了します。
- 2 コンピュータの電源を切ります（45 ページを参照）。
- ② **注意：**長さ 3 メートル以下のパラレルケーブルが最適です。
- 3 コンピュータのパラレルコネクタにパラレルプリンタケーブルを取り付け、2 つのネジをしっかりと締めます。ケーブルをプリンタのコネクタに接続してクリップをノッチにはめます。



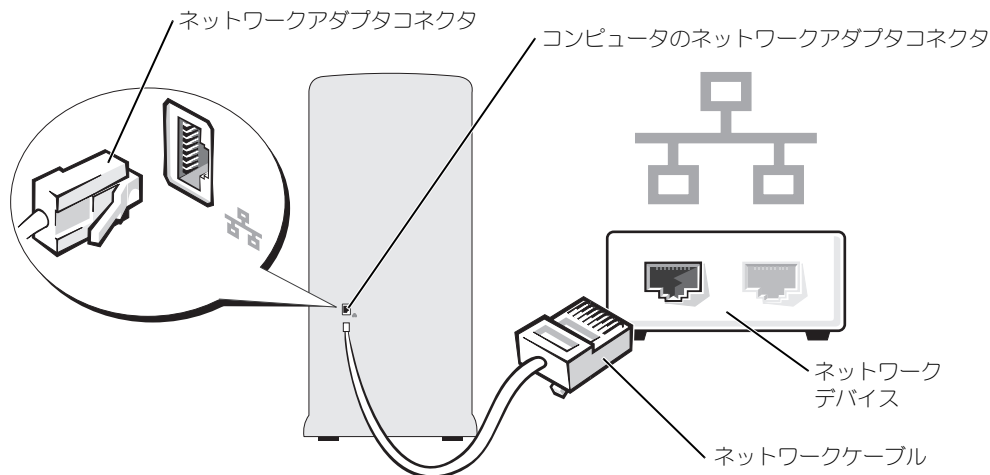
- 4 プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。新しいハードウェア追加ウィザード ウィンドウが表示されたら、**キャンセル** をクリックします。
- 5 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

ネットワークアダプタへの接続

📌 **メモ：**ネットワークケーブルをコンピュータのネットワークアダプタコネクタに差し込みます。ネットワークケーブルはコンピュータのモデムコネクタに差し込まないでください。ネットワークケーブルは電話ジャックに差し込まないでください。


- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの接続を確認します。
- 2 ネットワークケーブルのもう一方をネットワークデバイスに接続します。



ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP には家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** とポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
- 2 ネットワークセットアップウィザードの**開始**の画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 ネットワーク作成の**チェックリスト** をクリックします。

 **メモ**：インターネットに**直接接続している**という接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 1 (SP1) に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
- 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

インターネットへの接続方法

 **メモ**：ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP (インターネットサービスプロバイダ) が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ方法

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップの **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。

新しい接続ウィザード が表示されます。

- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。
- 4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
 - ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合は、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
 - ISP からセットアップ情報を入力済みではあるけれどもセットアップ CD をお持ちでない場合は、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
 - CD をお持ちの場合は、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選択した場合は、手順 6 に進んでください。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。




メモ：どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

- 6 **インターネットにどう接続しますか?** で設定するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。
- 7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合、19 ページの「E-メール、モデムおよびインターネットの問題」を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

CD および DVD のコピー


 **メモ**：CD または DVD の作成時には、すべての著作権法を遵守してください。

本項は、CD-RW、DVD+/-RW、または CD-RW/DVD（コンボ）ドライブを備えたコンピュータにだけ適用されます。


 **メモ**：デルにより提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、CD または DVD の正確なコピーを作成する方法について説明します。お使いのコンピュータに保存したオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、他の目的にも Sonic DigitalMedia を使用することができます。ヘルプを参照するには、Sonic DigitalMedia を開き、ウィンドウの右上にある疑問符 (?) のアイコンをクリックします。

CD または DVD のコピーの仕方

 **メモ**：CD-RW/DVD コンボドライブでは DVD メディアへの書き込みはできません。CD-RW/DVD コンボドライブがあり、コピー中に問題が生じた場合は、Sonic サポートウェブサイト www.sonicjapan.co.jp で使用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell™ コンピュータに取り付けられている DVD 書き込み可能ドライブは、DVD+/-R、DVD+/-RW および DVD+R DL（デュアルレイヤ）メディアに対して読み取りと書き込みを行います。DVD-RAM または DVD-R DL メディアに対する書き込みは行わず、読み取りも行わない可能性があります。

 **メモ**：市販の DVD の大部分は著作権のプロテクションがかかっており、Sonic DigitalMedia を使用してコピーすることはできません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **Sonic** → **DigitalMedia プロジェクト** をポイントし、**Copy (コピー)** をクリックします。
- 2 **Copy (コピー)** タブの下にある **バックアップ** をクリックします。
- 3 CD または DVD をコピーするには次の手順を実行します。
 - CD または DVD ドライブが 1 つしかない場合、設定が正しいことを確認し、**バックアップ** ボタンをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブの一時フォルダにコピーします。
プロンプトが表示されたら、CD または DVD ドライブに空の CD または DVD を挿入し、**OK** をクリックします。
 - CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択し、**バックアップ** ボタンを押します。コンピュータがソース CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

空の CD および DVD の使い方

DVD 書き込み可能ドライブは、CD 記録メディアと DVD 記録メディアの両方に書き込むことができますが、CD-RW ドライブは CD 記録メディアのみ（高速 CD-RW を含む）に書き込みができます。

音楽や永続保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、この CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。CD に書き込んだり、CD のデータを消去、上書き、またはアップデートするには、空の CD-RW を使用してください。

空の DVD+/-R は、大量の情報を永続保存することができます。DVD+/-R ディスクを作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクが「ファイナライズ」または「クローズ」された場合、そのディスクに再度書き込みができないことがあるかもしれません。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+/-RW を使用してください。

CD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい

DVD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい
DVD+R	はい	はい	いいえ
DVD-R	はい	はい	いいえ
DVD+RW	はい	はい	はい
DVD-RW	はい	はい	はい
DVD+R DL	はい	はい	いいえ
DVD-R DL	場合による	いいえ	いいえ
DVD-RAM	場合による	いいえ	いいえ

便利なヒント

- Sonic DigitalMedia を開始し、DigitalMedia プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW ディスクにドラッグ&ドロップすることができます。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用します。CD-RW はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- Sonic DigitalMedia を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。

- 市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーは、すべての DVD フォーマットをサポートするとは限りません。お使いの DVD プレイヤーでサポートされるフォーマットのリストに関しては、お使いの DVD プレイヤーに付属しているマニュアルを参照するか、製造元にお問い合わせください。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で 1～2 MB のブランクスペースを必要とします。
- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。

詳細に関しては、Sonic ウェブサイト www.sonicjapan.co.jp を参照してください。

ハイパースレッディング

ハイパースレッディングは Intel[®] テクノロジーであり、1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させることでコンピュータ全体の性能を向上させるので、特定のタスクを同時に実行することができます。Windows XP は、ハイパースレッディングテクノロジーを利用するために最適化されているので、Microsoft[®] Windows[®] XP Service Pack 1 (SP1) 以降のオペレーティングシステムを使用することをお勧めします。

多くのプログラムは、ハイパースレッディングの恩恵を受けることとなりますが、ハイパースレッディング用に最適化されていないプログラムもあります。そのようなプログラムは、ソフトウェア製造元によるアップデートが必要な場合があります。ソフトウェア製造元に連絡して、アップデートおよびハイパースレッディングでソフトウェアを使用する際の情報を入手してください。

お使いのコンピュータがハイパースレッディングテクノロジーを使用しているか確認するには次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 2 **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 3 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、**プロセッサ** 横の (+) サインをクリックします。ハイパースレッディングが有効な場合、プロセッサは 2 つ表示されています。

セットアップユーティリティを使って、ハイパースレッディングを有効または無効にすることができます。セットアップユーティリティにアクセスする方法については、80 ページを参照してください。


問題の解決

トラブルシューティングのヒント

コンピュータのトラブルシューティングを実行する際は、以下のヒントに従ってください。

- 部品を追加したり取り外した後に問題が発生した場合、取り付け手順を見直して、部品が正しく取り付けられているか確認します。
- 周辺機器が動作しない場合は、周辺機器が正しく接続されているか確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、メッセージを正確にメモします。このメッセージは、テクニカルサポート担当者が問題を診断して修復するのに役立ちます。
- プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合、プログラムのマニュアルを参照してください。

バッテリーの問題

 **警告：**バッテリーの取り付け方が間違っていると、破裂する危険があります。交換するバッテリーは、メーカーが推奨する型、または同等の製品をご利用ください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

バッテリーを交換します — コンピュータの電源を入れた後、繰り返し時間と日付の情報をリセットする必要がある場合、または起動時に間違った時間または日付が表示される場合は、バッテリーを交換します（75 ページを参照）。交換してもバッテリーが正常に機能しない場合は、デルにお問い合わせください（88 ページを参照）。

ドライブの問題

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します — スタート ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。フロッピードライブ、CD ドライブ、または DVD ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

ドライブをテストします —

- 元のフロッピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

ドライブまたはディスクをクリーニングします — 『Dell Dimension ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、7 ページを参照してください。

ケーブルの接続を確認します

HARDWARE TROUBLESHOOTER の実行を確認します — 43 ページを参照してください。

DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します — 35 ページを参照してください。

CD および DVD ドライブの問題

メモ：高速 CD ドライブまたは DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。CD や DVD ドライブの故障ではありません。



メモ：様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

WINDOWS で音量を調節します —

- 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックします。
- スライドバーをクリックし、上にドラッグして、音量が上がることを確認します。
- チェックマークの付いたボックスをクリックして、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

スピーカーとサブウーハーを確認します — 28 ページの「サウンドおよびスピーカーの問題」を参照してください。

CD/DVD-RW ドライブへの書き込み問題

その他のプログラムを閉じます — CD/DVD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW に書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了して試みます。

CD/DVD-RW ディスクへの書き込みの前に WINDOWS のスタンバイモードを無効にします —

電源管理のモードについては、『Dell Dimension ヘルプ』ファイル (7 ページを参照) を参照するか、Windows ヘルプ (8 ページを参照) でスタンバイというキーワードを検索してください。

ハードドライブの問題

チェックディスクを実行します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
- 2 **ローカルディスク C:** を右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックします。
- 4 **ツール** タブをクリックします。
- 5 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
- 6 **不良なセクタをスキャンし回復する** をクリックします。
- 7 **開始** をクリックします。

E-メール、モデムおよびインターネットの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ：モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します — E-メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

- 1 Outlook Express で、**ツール**、**オプション** とクリックして、**セキュリティ** をクリックします。
- 2 **ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話線の接続を確認します —

電話ジャックを確認します —

モデムを直接電話ジャックへ接続します —

他の電話線を使用してみます —

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。（コネクタは緑色のラベルかコネクタの絵柄の横にあります。）
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッという感触が得られることを確認します。
- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話を使ってモデムを直接電話ジャックに接続します。3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従ってモデムの問題を識別し、その問題を解決します。（Modem Helper は、すべてのコンピュータで利用できるわけではありません。）

モデムが Windows と通信しているかどうかを確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
- 4 **モデム** タブをクリックします。
- 5 モデムの COM ポートをクリックします。
- 6 Windows がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。
すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

インターネットに接続されていることを確認します — ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します。E-メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックし、マークを外してインターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータをスキャンして、スパイウェアを調べます — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェアプロテクションを含むアンチウィルスプログラムを使用して（プログラムをアップデートする必要があるかもしれませんが）、コンピュータをスキャンし、スパイウェアを除去してください。

エラーメッセージ

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

ファイル名には次の文字は使用できません： ¥ / : * ? " < > | — これらの文字はファイル名には使用しないでください。

必要な .DLL ファイルが見つかりません — 実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。次の操作を行い、アプリケーションプログラムを削除して再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 2 削除したいプログラムを選択します。
- 3 **変更と削除** ボタンをクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

drive letter :¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ドライブがディスクを読み取ることができません。ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。


起動可能なメディアを挿入してください — 起動フロッピーディスクまたは CD を挿入します。

非システムディスクエラーです — ドライブからフロッピーディスクを取り出し、コンピュータを再起動します。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなします — すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動してコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、使いたいプログラムを最初に開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — デルにお問い合わせください（88 ページを参照）。

IEEE 1394 デバイスの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

IEEE 1394 デバイスのケーブルが、デバイスおよびコンピュータのコネクタに正しく差し込まれているか確認してください

Windows が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。

2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

DELL IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — デルにお問い合わせください（88 ページを参照）。

デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

キーボードの問題

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。


キーボードケーブルを確認します —

- キーボードケーブルがコンピュータにしっかり接続されているか確認します。
- コンピュータをシャットダウンし（45 ページを参照）、キーボードケーブルをコンピュータのセットアップ図に示されているように接続しなおし、コンピュータを再起動します。
- ケーブルコネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか、またはケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。曲がったピンをまっすぐにします。
- キーボード延長ケーブルを取り外し、キーボードを直接コンピュータに接続します。

キーボードを確認します — 正常に機能している別のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。

HARDWARE TROUBLESHOOTER を実行します — 43 ページを参照してください。

ロックアップおよびソフトウェアの問題

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータが起動しない

診断ライトを確認します — 31 ページを参照してください。

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータが応答しない

 **注意：**オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

プログラムが応答しない

プログラムを終了します —

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
- 2 **アプリケーション** をクリックします。
- 3 反応がなくなったプログラムを選択します。
- 4 **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする



メモ：通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

プログラムのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム向けに設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します —

Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

青一色の画面（ブルースクリーン）が表示される

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルまたはプログラムを保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします

メモリの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます（54 ページを参照）。
- メモリモジュールを装着しなおし、コンピュータがメモリと正常に通信していることを確認します（54 ページを参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（35 ページを参照）。

その他の問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし（54 ページを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（54 ページを参照）。
- お使いの Dell Dimension™ コンピュータは DDR メモリに対応しています。お使いのコンピュータに対応するメモリのタイプについては、77 ページの「メモリ」を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（35 ページを参照）。

マウスの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

マウスをクリーニングします — マウスをクリーニングする手順については、『Dell Dimension ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、7 ページを参照してください。

マウスケーブルを確認します —

- 1 ケーブルコネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか、またはケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。曲がったピンをまっすぐにします。
- 2 マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを取り外してマウスをコンピュータに直接接続します。
- 3 コンピュータをシャットダウンし（45 ページを参照）、マウスケーブルをコンピュータのセットアップ図に示されているように接続しなおし、コンピュータを再起動します。

コンピュータを再起動します —

- 1 <Ctrl><Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
- 2 **u** と入力してからキーボードの矢印キーを押して、**シャットダウン** または **終了オプション** を選択して、<Enter> キーを押します。
- 3 コンピュータの電源が切れた後、マウスケーブルをお使いのコンピュータのセットアップ図に示されているように接続しなおします。
- 4 コンピュータを再起動します。

マウスを確認します — 正常に機能している別のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。

マウス設定を確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **マウス** をクリックします。
- 3 設定を変更してみます。

マウスドライバを再インストールします — 38 ページを参照してください。

HARDWARE TROUBLESHOOTER を実行します — 43 ページを参照してください。

ネットワークの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ネットワークケーブルのコネクタを確認します — ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。


コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します — リンク保全 (Link Integrity) ライトがオフの場合、ネットワーク通信が存在しないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。ネットワークライトの説明については、79 ページの「ボタンとライト」を参照してください。

コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

HARDWARE TROUBLESHOOTER を実行します — 43 ページを参照してください。

電源の問題

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合 — 31 ページの「診断ライト」を参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され電源タップがオンになっていることを確認します。電源保護装置、電源タップ、および電源延長ケーブルを取り外し、コンピュータの電源が入るか確認します。
- 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。
- 電源ケーブルおよび前面パネルのケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (53 ページを参照)。

電源ライトが黄色に点滅している場合 — コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- 電圧切り替えスイッチ (49 ページを参照) がご使用の場所の AC 電源に適合するように設定されているか確認します (適用する場合)。
- プロセッサの電源ケーブル (53 ページを参照) がシステム基盤にしっかりと接続されているか確認します。

電源ライトが黄色に点灯している場合 — デバイスが故障しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。

- メモリモジュールを取り外して、取り付けなおします（54 ページを参照）。
- すべてのカードを取り外して、取り付けなおします（57 ページを参照）。
- グラフィックカードを取り付けている場合、取り外して、取り付けなおします（57 ページを参照）。

干渉を取り除きます — 干渉の原因には、以下のものがあります。

- 電源ケーブル、キーボードケーブル、およびマウス延長ケーブル
- 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

プリンタの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ：プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているかどうか確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタおよびコンピュータにしっかりと接続されているか確認します（10 ページを参照）。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。


WINDOWS でプリンタを検出します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。
プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。パラレルプリンタの場合、**印刷先のポート** を **LPT1：プリンタポート** に設定します。USB プリンタの場合、**印刷先のポート** が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 手順については、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ**：スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを解除します — スキャナーに固定タブやボタンがある場合は、ロックが解除されていることを確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

MICROSOFT WINDOWS がスキャナーを認識しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **スキャナとカメラ** をクリックします。
お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。


スキャナードライバを再インストールします — 手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

サウンドおよびスピーカーの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

スピーカーから音がしない場合

 **メモ**：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレーヤーの音量が十分に確認してください。

 **メモ**：PCI オーディオカードを取り付けている場合、内蔵スピーカーが無効になっています。

スピーカーケーブル接続を確認します — スピーカーのセットアップ図の指示どおりにスピーカーが接続されているか確認してください。サウンドカードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されているか確認します。

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーのセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音のひずみを解消します。

WINDOWS のボリューム調整 — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあることと、ミュートが選択されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、およびハロゲンランプの電源を切ります。

スピーカーの診断プログラムを実行します

サウンドドライバを再インストールします — 38 ページを参照してください。

HARDWARE TROUBLESHOOTER を実行します — 43 ページを参照してください。

ヘッドフォンから音がしない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します (47 ページを参照)。

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあることと、ミュートが選択されていないことを確認します。

ビデオとモニターの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ：トラブルシューティングの手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

画面に何も表示されない場合

モニターのケーブル接続を確認します —

- グラフィックスケーブルが、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りに接続されているか確認します。
- グラフィックス延長ケーブルを外すと問題が解決する場合、ケーブルに欠陥があります。
- コンピュータおよびモニターの電源ケーブルを交換し、電源ケーブルに障害があるかどうか確認します。
- 曲がったり壊れたりしているピンがないか、コネクタを確認します。(モニターのケーブルコネクタは、通常いくつかのピンが欠けています。)

モニターの電源ライトを確認します — 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかりと押して、モニターの電源が入っているか確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合、モニターには電力が供給されています。電源ライトが点滅する場合、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

診断ライトを確認します — 31 ページを参照してください。

DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します — 35 ページを参照してください。

画面が見づらい場合

モニターの設定を確認します — モニターのコントラストと輝度の調整、モニターの消磁、およびモニターのセルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

サブウーハーをモニターから離します — スピーカーにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがモニターから 60 センチ以上離れていることを確認します。

外部電源をモニターから離します — 扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、およびその他の電気機器は、画面の状態を不安定にすることがあります。コンピュータの近くで使用している機器の電源を切ってみてください。

モニターを回転させ、直射日光や干渉を減らします

WINDOWS のディスプレイ設定を調節します —


- 1 スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 2 画面** をクリックして、**設定** タブをクリックします。
- 3 画面の解像度** および **画面の色** で別の設定にしてみます。


詳細なトラブルシューティング


診断ライト


 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



問題の解決を容易にするため、お使いのコンピュータには背面パネルに「A」、「B」、「C」、および「D」とラベルの付いた4つのライトが搭載されています（49ページを参照）。ライトは黄色または緑色です。コンピュータが正常に起動すると、ライトが点滅します。コンピュータの起動が終了すると、4つのライトすべてが緑色に点灯します。コンピュータが誤動作している場合、ライトの色や組み合わせ順によって問題を識別できます。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 A B C D	コンピュータが通常のオフの状態、または BIOS の起動前に障害が起こっている可能性があります。	コンピュータを使用可能なコンセントに接続し、電源ボタンを押します。



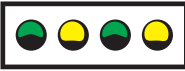
 = 黄色

 = 緑色


 = オフ


ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p>A B C D</p>	<p>メモリモジュールが検出されましたが、メモリ障害が発生しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取り付けられているメモリモジュールが1つの場合、モジュールを取り付けなおして（54 ページを参照）、コンピュータを再起動します。 取り付けられているメモリモジュールが2つ以上の場合、モジュールを取り外し、1つを取り付けなおして（54 ページを参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを追加します。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。 適切に動作する同じ種類のメモリがある場合、そのメモリをコンピュータに取り付けます（54 ページを参照）。 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（88 ページを参照）。
 <p>A B C D</p>	<p>グラフィックスカードの障害が発生した可能性があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータにグラフィックスカードを取り付けている場合、カードを取り外し、取り付けなおして（57 ページを参照）、コンピュータを再起動します。 それでも問題が解決しない場合は、動作を確認済みのグラフィックスカードを取り付け、コンピュータを再起動します。 問題が解決しない場合、またはカードがコンピュータに内蔵されている場合は、デルにお問い合わせください（88 ページを参照）。


-  = 黄色
-  = 緑色
-  = オフ


ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p>A B C D</p>	<p>フロッピードライブまたはハードドライブの障害が発生した可能性があります。</p>	<p>すべての電源ケーブルおよびデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。</p>
 <p>A B C D</p>	<p>USB の障害が発生した可能性があります。</p>	<p>すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。</p>
 <p>A B C D</p>	<p>メモリモジュールは検出されましたが、メモリの設定または互換性エラーが存在します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないか確認します (54 ページを参照)。 取り付けようとしているメモリがコンピュータと互換性があるか確認します (54 ページを参照)。 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください (88 ページを参照)。


-  = 黄色
-  = 緑色
-  = オフ


ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p>A B C D</p>	<p>拡張カードの障害が発生した可能性があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 (グラフィックスカード以外の) カードを取り外してからコンピュータを再起動し、コンフリクトが起きていないかを調べます (57 ページを参照)。 2 問題が解決しない場合は、取り外したカードを取り付けなおし、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。 3 それぞれのカードについて、この手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合、リソースコンフリクト時にコンピュータから最後に取り外したカードをトラブルシューティングします (43 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決」を参照)。 4 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください (88 ページを参照)。


 = 黄色


 = 緑色


 = オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 A B C D	その他の障害が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ハードドライブ、CD ドライブ、および DVD ドライブからシステム基板へのケーブルが正しく接続されているか確認します（53 ページを参照）。 デバイス（フロッピードライブやハードドライブなど）に問題があることを示すエラーメッセージが画面に表示されている場合、デバイスが正しく機能しているか確認してください。 オペレーティングシステムがデバイス（フロッピードライブやハードドライブ）から起動しようとしています。お使いのコンピュータに取り付けられているデバイスの起動順序が正しいか確かめるため、セットアップユーティリティを確認します（80 ページを参照）。 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（88 ページを参照）。

 A B C D	POST の後、コンピュータは通常の動作状態にあります。	特にありません。
--	------------------------------	----------

 = 黄色

 = 緑色

 = オフ

Dell Diagnostics（診断）プログラム

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータに問題が発生した場合、テクニカルサポートに問い合わせる前に、17 ページの「問題の解決」のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

 **注意：**Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell™ コンピュータ上でのみ機能します。

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして（45 ページを参照）もう一度やり直してみます。

- 3 起動デバイス一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition** をハイライト表示して <Enter> を押します。
- 4 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます（36 ページを参照）。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

- 1 Dell Diagnostics（診断）プログラムのロードが終了し、**Main Menu** 画面が表示されたら、必要なオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10～20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題を素早く特定できる可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

- 2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。
エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください（88 ページを参照）。



メモ：各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

- 3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合は、該当するタブをクリックします（詳細に関しては、以下の表を参照）。

タブ	機能
Results	テストの結果および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。

タブ	機能
Configuration	<p>選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。</p> <p>Dell Diagnostics（診断）プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。</p>
Parameters	<p>テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。</p>

- 4 テスト画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにはドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Dell コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。次の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、次の手順を実行して問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。

- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符 (![!]) の付いた黄色い丸) が付いているものがないか確認します。
デバイス名の横に感嘆符がある場合は、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要になる場合があります。

ドライバの再インストール

 **注意**：デルサポートサイト support.jp.dell.com から Dell™ コンピュータの認可されたドライバが入手できます。その他の媒体からのドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートしたためにシステムが不安定になった場合は、Windows XP のデバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置き換えることができます。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。
- 7 **ドライバ** タブをクリックします。
- 8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

ドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の稼動状態にコンピュータを戻します。

ドライバの手動インストール

- 1 要求されたドライバファイルをハードドライブにコピーした後、**スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックします。
- 2 **プロパティ** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 4 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします。
- 5 デバイスの名前をダブルクリックします。
- 6 **ドライバ** タブをクリックし、**ドライバの更新** をクリックします。
- 7 **一覧または特定の場所からインストールする (詳細)** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 8 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
- 9 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Microsoft® Windows® XP のシステムの復元は、データファイルに影響を与えずに、コンピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- Symantec による Dell PC の復元は、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。Dell PC の復元はハードドライブのすべてのデータを永久に削除し、コンピュータを受け取られてから後にインストールされた全てのアプリケーションも取り除きます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、PC の復元を使用してください。

コンピュータに『オペレーティングシステム CD』が付いていた場合は、この CD を使ってオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム CD』を使用すると、ハードドライブ上のデータもすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、この CD を使用してください。

Windows XP システムの復元

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。Windows ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。



注意： データファイルの定期的なバックアップを行います。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。



メモ： このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** のタスクをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバロールバック（38 ページを参照）を使用してみます。それでも問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。




注意： コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認してから、**次へ** をクリックします。

- 3 コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。
復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。
- 4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。
カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用可能な場合は、希望の復元ポイントをクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。
- 6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

最後のシステムの復元を元に戻す

 **注意：** 最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、開いているプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **以前の復元を取り消す** をクリックし、**次へ** をクリックします。


システムの復元の有効化


200 MB より空容量が少ないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムの復元** タブをクリックします。

すべてのドライブでシステムの復元を無効にする にチェックマークが付いていないことを確認します。

Symantec による Dell PC の復元の使い方

 **注意：** Dell PC の復元を使用すると、ハードドライブのすべてのデータは永久に削除され、コンピュータを受け取られてから後にインストールされた全てのアプリケーションやドライバも取り除かれます。PC の復元を使用する前にデータをバックアップしてください。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、PC の復元を使用してください。



 **メモ：** Symantec による Dell PC の復元は、ある地域、またはコンピュータによって、使用できない場合があります。

Symantec による Dell PC の復元は、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。


PC の復元は、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。コン

コンピュータを受け取られてから追加されたデータファイルを含むどのようなプログラムやファイルも永久にハードドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。PC の復元を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

PC の復元は、以下の手順で使用します。

- 1 コンピュータの電源を入れます。
起動プロセスの間に、画面の上部に青色のバーで **www.dell.com** と表示されます。
- 2 青色のバーが表示されたら、すぐに <Ctrl><F11> を押します。
<Ctrl><F11> を押すのが遅れた場合は、いったんコンピュータがスタートし終わるのを待って、もう一度再スタートします。
-  **注意**：PC の復元をこれ以上進めたくない場合は、次の手順で **再起動** をクリックします。
- 3 次の画面で **復元** をクリックします。
- 4 次の画面で **承認** をクリックします。
復元プロセスが完了するまでに、約 6 ~ 10 分かかります。
- 5 プロンプトが表示されたら、**終了** をクリックしてコンピュータを再起動します。
 **メモ**：コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**終了** をクリックし、コンピュータを完全に再起動させます。
- 6 プロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。
コンピュータは再起動します。コンピュータは初期の稼働状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。
- 7 **次へ** をクリックします。
システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。
- 8 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。



Dell PC の復元の削除

 **注意**：Dell PC の復元をハードドライブから永久に削除すると、PC の復元ユーティリティをお使いのコンピュータから削除します。Dell PC の復元を取り除いた後は、それを使ってお使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできません。

PC の復元を使用すると、オペレーティングシステムを、コンピュータをご購入になった時の状態に戻すことができます。ハードドライブのスペースを増やすためであっても、お使いのコンピュータから PC の復元を削除しないことをお勧めします。ハードドライブから PC の復元を削除すると、今後、PC の復元を呼び出すことができず、PC の復元を使用してコンピュータのオペレーティングシステムを、出荷時の状態に戻すことができなくなります。

PC の復元を削除するには次の手順を実行します。


- 1 コンピュータにローカルのシステム管理者としてログオンします。
- 2 Windows エクスプローラーで、**c:\dellutilities\DSR** に移動します。
- 3 **DSRIRRemv2.exe** ファイルをダブルクリックします。

-  **メモ：**ローカルのシステム管理者としてログオンしていない場合は、ローカルのシステム管理者としてログオンするようメッセージが表示されます。**Quit (終了)** をクリックして、ローカルのシステム管理者としてログオンします。
 -  **メモ：**お使いのコンピュータのハードドライブに PC の復元用パーティションがない場合、パーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示されます。**Quit (終了)** をクリックしてください。削除するパーティションがありません。
- 4 **OK** をクリックして、ハードドライブの PC の復元用パーティションを取り除きます。
 - 5 確認のメッセージが表示されたら、**はい** をクリックします。
PC の復元用パーティションが削除され、新しくできた使用可能ディスクスペースが、ハードドライブのフリースペースの割り当てに加えられます。
 - 6 Windows エクスプローラで **ローカルディスク (C)** をクリックし、**プロパティ** をクリックして、**空き領域** に追加されたスペースが加えられていることを確認します。
 - 7 **終了** をクリックして、**PC の復元の削除** ウィンドウを閉じます。
 - 8 コンピュータを再起動します。

オペレーティングシステム CD の使い方


作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、まず Windows XP のデバイスドライバのロールバックを試してみます。Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方を参照してください。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻してみます。お使いのオペレーティングシステムの復元を参照してください。

-  **注意：**インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成しておいてください。標準的なハードドライブ構成において、プライマリハードドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。


Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™ 『オペレーティングシステム CD 』
- Dell Drivers and Utilities CD (ResourceCD と呼ばれます)

-  **メモ：** Drivers and Utilities CD には、コンピュータの組み立て時に、工場でインストールされたドライバが含まれています。Drivers and Utilities CD を使用して、必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータをご注文になった地域、または CD をご注文になったかどうかによって、『Drivers and Utilities CD』および『オペレーティングシステム CD』が同梱されていない場合があります。

Windows XP の再インストール

再インストール処理を完了するには、1～2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

-  **注意：** 『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP の再インストールのオプションを提供しています。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。Install Windows XP のメッセージが表示されたら、**Exit** をクリックします。
- 3 コンピュータを再起動します。
- 4 DELL™ ロゴが表示されたらすぐに、<F12> を押します。
オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

画面の指示に従ってインストールを完了します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されても間違っ設定されている場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性の問題を解決します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングで非互換性の問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **検索** フィールドで、ハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、次に矢印をクリックして検索を始めます。
- 3 **検索結果** の一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
- 4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。

部品の取り外しと取り付け

作業を開始する前に

本章では、コンピュータのコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」および「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順をすでに終えていること。
- Dell™ 『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。
- コンポーネントを交換するか、別途購入している場合取り外し手順と逆の順番で取り付けを行います。

奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ

コンピュータの電源を切る



注意：データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンします。
 - a 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。次に、**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
 - b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。
オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後、コンピュータの電源が切れます。
- 2 コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒間押し続けます。

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



警告：部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。



注意：コンピュータシステムの修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。



注意：ケーブルを抜くときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。



注意：コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1 コンピュータの電源を切ります（45 ページを参照）。



注意：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

2 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。

3 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。



警告：感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

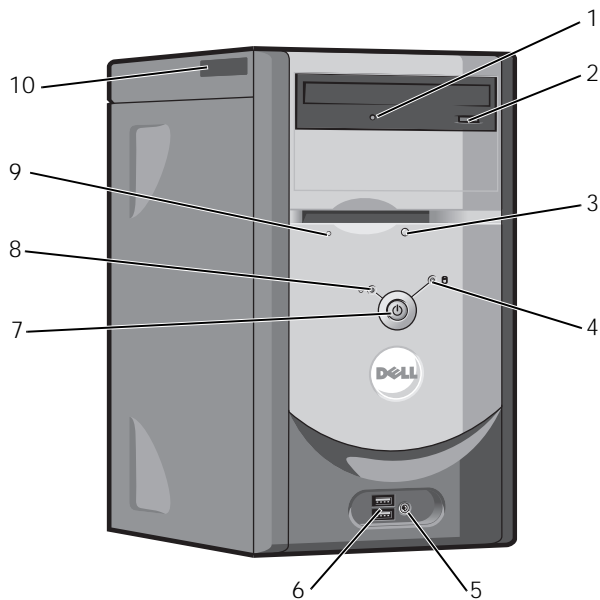
4 コンピュータカバーを開きます（51 ページを参照）。




注意：コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属など、塗装されていない金属面に触り、静電気を除去してください。コンピュータ内部のコンポーネントへの損傷を防ぐため、コンピュータの内部の作業をしている間は、定期的に塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去してください。

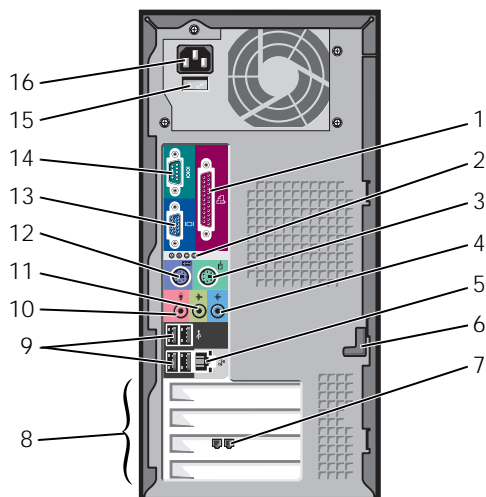
コンピュータの正面図および背面図

正面図



1	CD または DVD ドライブ動作ライト	ドライブ動作ライトは、コンピュータが CD または DVD ドライブからデータを読み取る際に点灯します。
2	CD または DVD ドライブ取り出しボタン	CD/DVD ドライブからディスクを取り出します。
3	フロッピードライブ取り出しボタン	フロッピーディスクをフロッピードライブから取り出します。 (オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用)
4	ハードドライブ動作ライト	コンピュータがハードドライブとデータの読み書きを行っている場合にライトが点灯します。このライトは、CD プレーヤーなどのデバイスが動作中にも点灯します。
5	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンおよびほとんどの種類のスピーカーを取り付けることができます
6	USB 2.0 コネクタ (2)	ジョイスティックやカメラ、または起動可能な USB デバイスなど、時々接続するデバイスには、前面 USB コネクタを使用します (USB デバイスからの起動については、80 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください)。 プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面 USB コネクタを使用することをお勧めします。
7	電源ボタン	電源ボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。  注意： データの損失を防ぐため、電源ボタンを押してコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押す代わりに、オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。
8	電源ライト	電源ライトは、点滅したり点灯することで異なる状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 消灯 — コンピュータの電源は切れています。 緑色の点灯 — コンピュータは、通常の動作状態です。 緑色の点滅 — コンピュータは、省電力状態です。 黄色の点滅または点灯 — 26 ページの「電源の問題」を参照してください。
9	フロッピードライブ動作ライト	フロッピードライブライトは、コンピュータがフロッピードライブからデータを読み書きしている場合に点灯します。このライトが消えてから、フロッピーディスクをドライブから取り出します。 (オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用)
10	サービスタグ	デルサポートウェブサイトまたはテクニカルサポートにお電話をいただいた際に、お使いのコンピュータを識別するのに使用されます。

背面図




1	パラレルコネクタ	プリンタなどのパラレルデバイスをパラレルコネクタに接続します。USB プリンタをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
2	診断ライト (4)	診断ライトは、診断コードに基づくコンピュータの問題のトラブルシューティングに役立ちます。詳細に関しては、31 ページの「診断ライト」を参照してください。
3	マウスコネクタ	標準のマウスは、緑のマウスコネクタに差し込みます。コンピュータと、コンピュータに取り付けられているすべてのデバイスの電源を切ってから、マウスをコンピュータに接続します。USB マウスをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
4	ライン入力コネクタ	青色のライン入力コネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、または VCR (ビデオカセットレコーダー) などの録音 / 再生デバイスを接続します。サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
5	ネットワークアダプタコネクタ	コンピュータをネットワークやブロードバンドデバイスに取り付けるには、ネットワークケーブルの片方の端をネットワークジャックやネットワーク / ブロードバンドデバイスに接続します。もう一端のネットワークケーブルをコンピュータのネットワークアダプタコネクタに接続します。インジケータにカチッと収まるまで、ネットワークケーブルをしっかりと接続します。 メモ ：モデムケーブルをネットワークコネクタに接続しないでください。ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。 カテゴリ 5 のケーブルを使用して、ネットワークを接続することをお勧めします。カテゴリ 3 のケーブルを使用する必要がある場合、ネットワーク速度を 10 Mbps にして動作の信頼性を確保します。

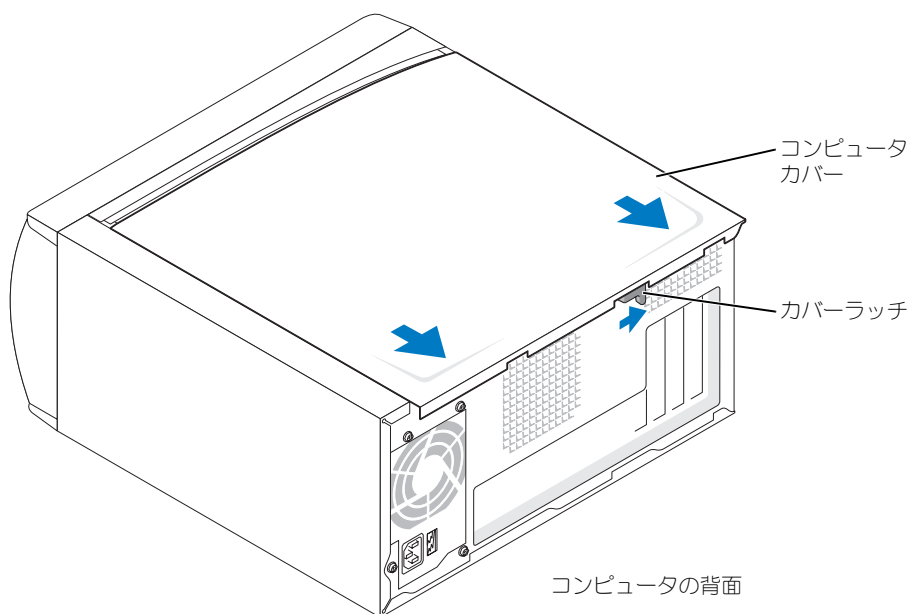
6	カバーラッチ	ラッチを外してコンピュータからカバーを取り外します。 51 ページの「コンピュータカバーの取り外し」を参照してください。
7	モデムコネクタ	(オプション) モデムが装備されている場合は、モデムケーブルをモデムコネクタのいずれかに接続します。モデムケーブルをネットワークコネクタに接続しないでください。 メモ ：すべてのモデムにコネクタが 2 つあるとは限りません。
8	カードスロット	取り付けられている PCI カード (3 つのスロット) 用のアクセスコネクタ
9	USB 2.0 コネクタ (4)	プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面 USB コネクタを使用します。 ジョイスティックやカメラ、または起動可能な USB デバイスなど、時々接続するデバイスには、前面 USB コネクタを使用します。
10	マイクコネクタ	ピンク色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、マイクコネクタはカードにあります。
11	ライン出力コネクタ	緑色のライン出力コネクタを使って、ヘッドフォンおよび内蔵アンプの付いたほとんどのスピーカーを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
12	キーボードコネクタ	標準のキーボードをお使いの場合、紫色のキーボードコネクタに差し込みます。USB キーボードをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
13	オンボードビデオコネクタ	このコネクタに保護キャップが被さっている場合、コンピュータにオプションのビデオカードが取り付けられています。保護キャップが被さっていない場合、モニターのカابلを青色のコネクタに差し込みます。
14	シリアルコネクタ	ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスをシリアルポートに接続します。
15	電圧選択スイッチ (すべてのコンピュータで利用できるわけではありません)	詳細は、『製品情報ガイド』の安全に関する指示を参照してください。
16	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。

コンピュータカバーの取り外し

 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 警告：感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。


- 1 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。
- 2 コンピュータカバーを上向きにして、コンピュータを横に倒します。
- 3 コンピュータカバーにカバーラッチがある場合、カバーラッチをスライドして押さえます。
- 4 コンピュータカバーのへこみ部分をつかんで、コンピュータカバーをコンピュータの背面に向けてスライドします。

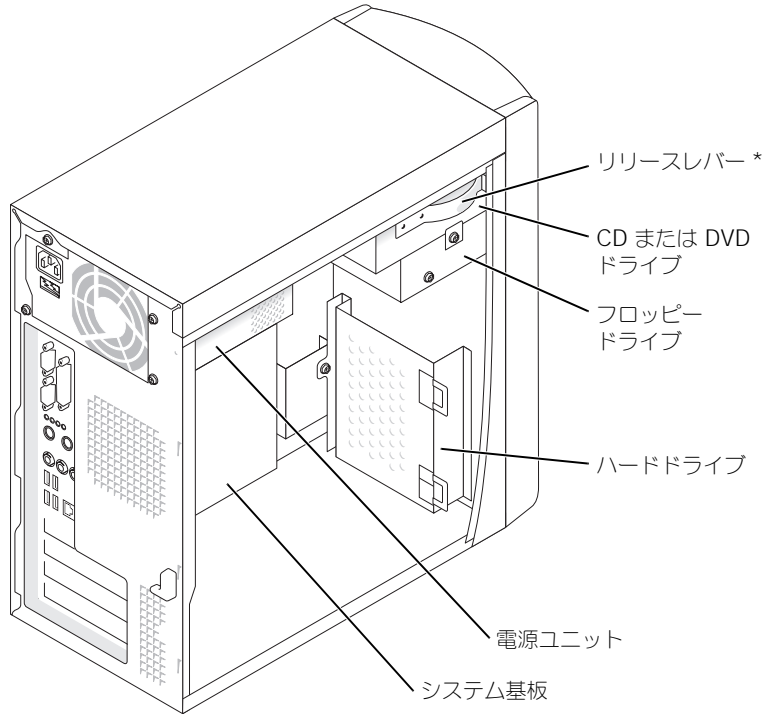


- 5 平らな面にコンピュータカバーを置きます。

コンピュータの内部

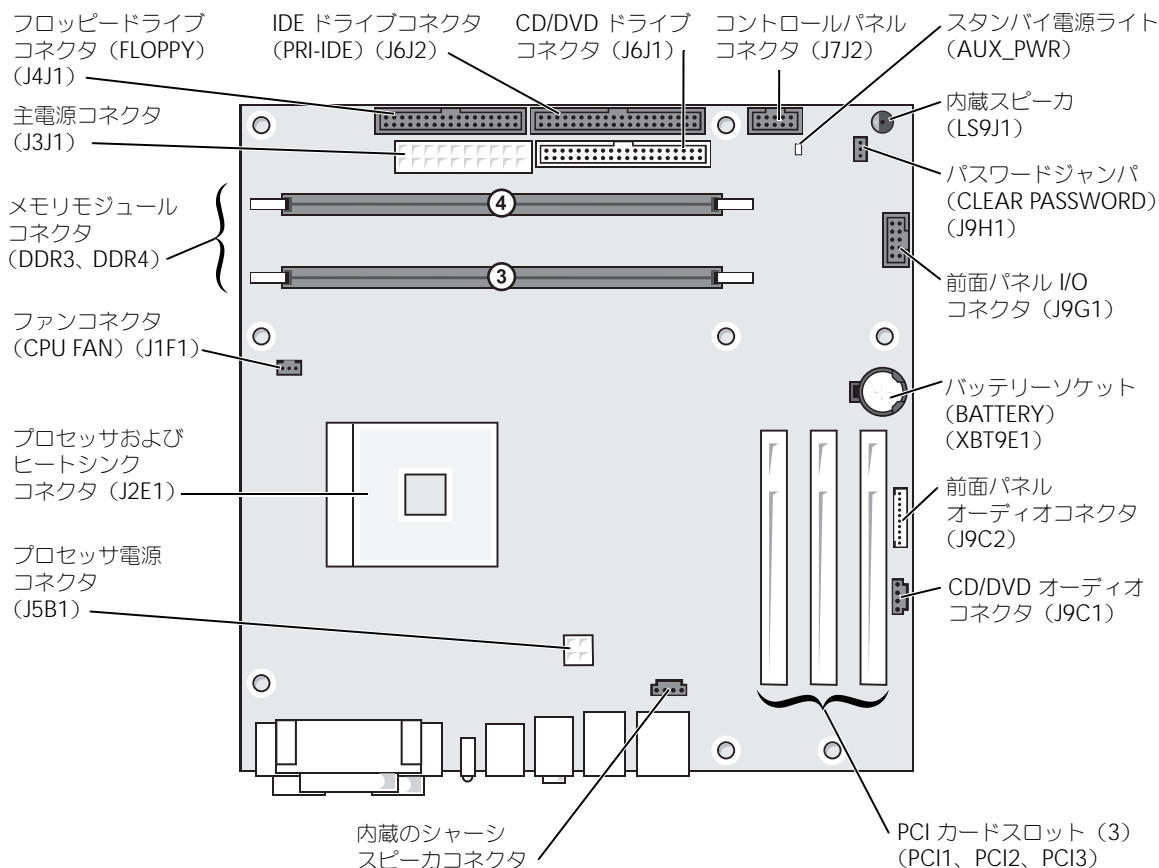
 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 警告：感電を防ぐため、コンピュータカバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。




* すべてのコンピュータに搭載されているわけではありません。

システム基盤コンポーネント



メモリ


システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリのタイプについては、77 ページの「メモリ」を参照してください。

 **メモ**：800 MHz のフロントサイドバスで使用すると、DDR 333 メモリは 320 MHz で動作します。

DDR メモリの概要

DDR メモリモジュールは、必ず同じメモリサイズのを 2 枚 1 組のペアで取り付ける必要があります。つまり、128MB のメモリを搭載したコンピュータをお買い上げになり、新たに 128MB のメモリを増設する場合、128MB のメモリをペアにして適切なコネクタに装着します。DDR メモリモジュールを同じメモリサイズのペアで取り付けていない場合、コンピュータは動作しますが、性能が少し落ちます。

 **メモ**：必ず、システム基板に示されている順番で DDR メモリモジュールを装着してください。

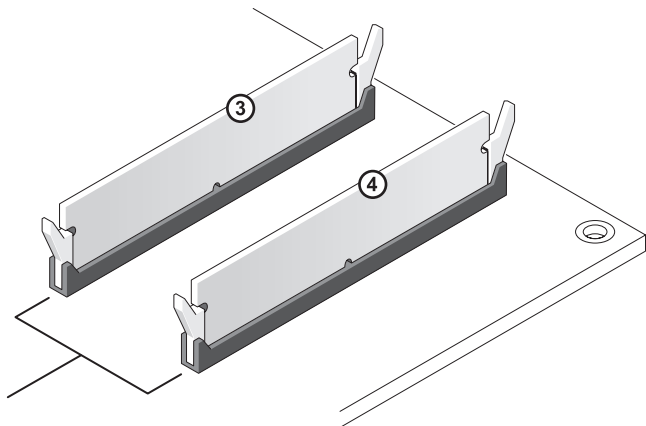
 **メモ**：お使いのコンピュータには、DIMM3 と DIMM4 という 2 つのメモリスロットがあります。


推奨されるメモリ構成は、以下のとおりです。


- 一組のメモリモジュールを適合するコネクタ DIMM3 と DIMM4 に取り付けます。
- ECC メモリモジュールは装着しないでください。
- PC2700 (DDR 333-MHz) と PC3200 (DDR 400-MHz) を組み合わせて取り付ける場合、モジュールの取り付け速度は最も遅くなります。
- モジュールをコネクタに取り付ける前に、シングルメモリモジュールを DIMM3 またはプロセッサに最も近いコネクタに取り付けます。

メモリの取り付けガイドライン

DIMM3 と DIMM4 に適合する
一組のメモリモジュール



-  **注意：**メモリのアップグレード中に取り付けてあった元のメモリモジュールをコンピュータから取り外す場合は、このモジュールと、ご自身でお持ちの新しいモジュール（デルから購入されたものであってモ）を別に保管しておいてください。DIMM3 と DIMM4 コネクタには新しいメモリモジュールを取り付ける必要があります。できれば、取り付けてあった元のメモリモジュールと新しいメモリモジュールをペアで使用しないでください。コンピュータが最適のパフォーマンスで機能しない場合があります。

 **メモ：**デルから購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証に含まれます。


メモリの取り付け

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』にある安全手順に従ってください。

- 1 スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします（45 ページを参照）。
- 2 コンピュータと接続されているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、ここで電源を切ります。

 **注意：**ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に壁のネットワークジャックから外します。

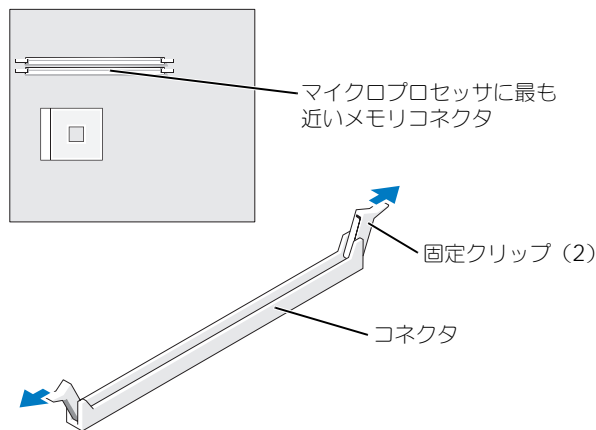
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
- 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。

 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

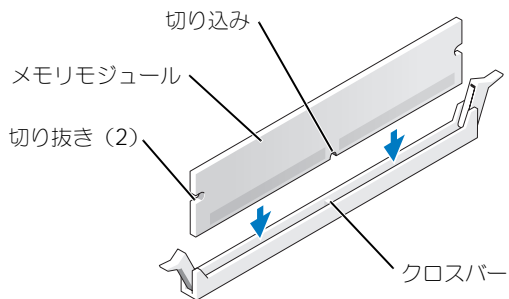
- 5 コンピュータカバーを取り外します（51 ページ参照）。
- 6 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 7 必要であれば、メモリモジュールを取り外します。
 - a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。
 - b モジュールをしっかりとつかんで、引き上げます。

モジュールが取り外しにくい場合、モジュールを前後に慎重に動かしてゆるめ、コネクタから取り外します。

- 8 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開き、モジュールを挿入します。



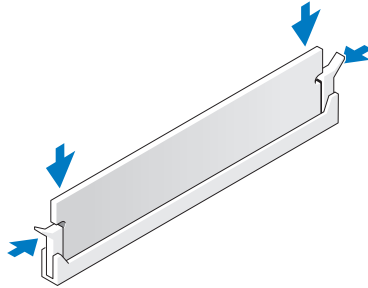
- 9 モジュールの底面の切り込みを、コネクタ内のクロスバーに合わせます。



注意：メモリモジュールが損傷を受けるのを避けるため、モジュールの中央を押さないでください。

- 10 モジュールコネクタ両端の垂直ガイドに収まっていることを確認しながら、モジュールコネクタにまっすぐ差し込みます。モジュールがカチッと所定の位置に収まるまで、モジュールの両端をしっかり押します。

モジュールが適切に挿入されると、固定クリップはモジュール両端の切り抜きにカチッと収まります。



- 11 コンピュータカバーを取り付けます（76 ページ参照）。
- ① **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 12 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 13 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 14 **全般** タブをクリックします。
- 15 表示されているメモリ（RAM）の容量を確認して、メモリが正しく装着されているか確認します。

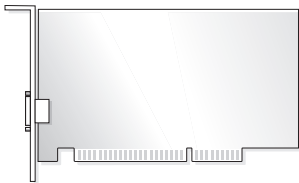
カード

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

① **注意：**コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

お使いの Dell™ コンピュータには、PCI カード用の 3 つのスロットがあります。

PCI カード

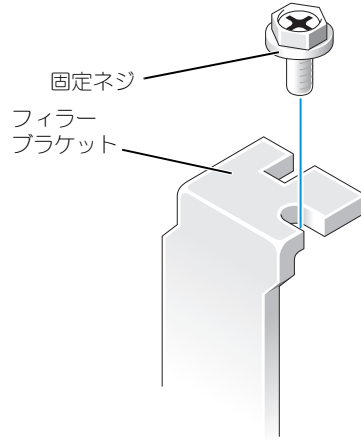


カードを取り付けるか交換する場合、次項の手順に従ってください。カードを取り外すだけで取り付け直さない場合は、60 ページの「PCI カードの取り外し」を参照してください。

カードを交換する場合、現在のカード用のドライバをオペレーティングシステムから削除します。

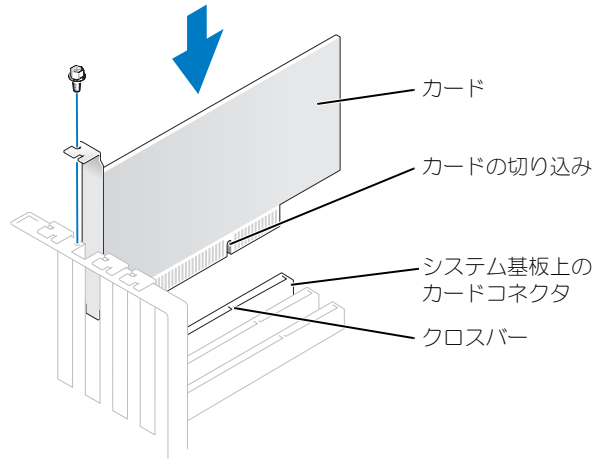
PCI カードの取り付け

- 1 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 使用するカードスロットのフィラーブラケットのネジを外します。

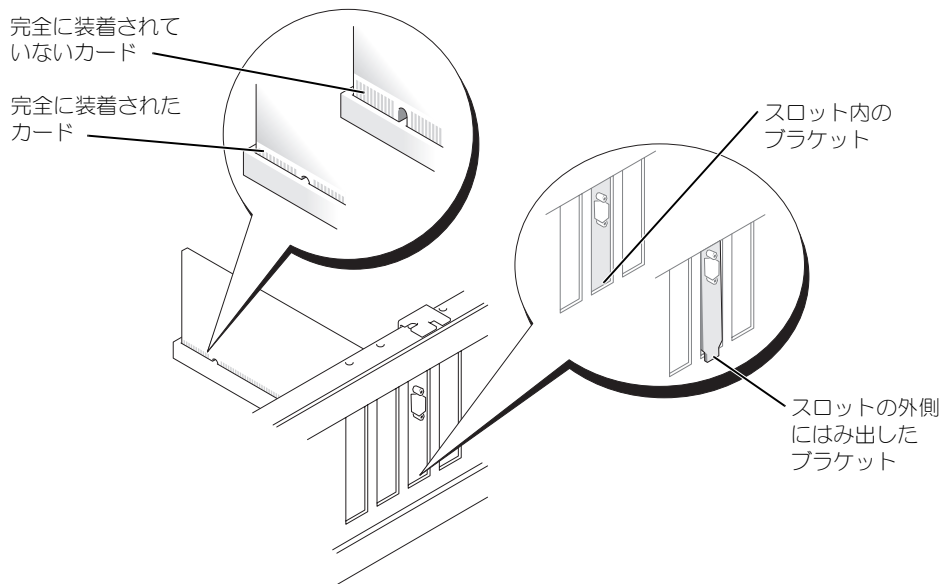


警告：ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電防止のため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 3 カード底面の切り込みをシステム基板コネクタのクロスバーに合わせます。カードが確実にコネクタに入るまで、カードを慎重に前後にゆらしながら装着します。




カードが完全に装着されていて、ブラケットがカードスロットの内側に入っているか確認します。




- 4 カードブラケットを手順 2 で取り外したネジで固定します。
- 5 カードに取り付けるすべてのケーブルを接続します。
カードのケーブル接続については、カードに付属のマニュアルを参照してください。
- ➡ **注意：**カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。ケーブルをカードの上に配線すると、装置に損傷を与える恐れがあります。
- 6 サウンドカードを取り付けた場合：
 - a セットアップユーティリティ（80 ページを参照）を起動し、**Audio Controller** を選び、設定を **Off** に変更します。
 - b 外付けオーディオデバイスをサウンドカードのコネクタに接続します。外付けオーディオデバイスを、背面パネルのマイクコネクタ、スピーカー / ヘッドフォンコネクタ、またはライン入力コネクタに接続しないでください。
- 7 アドインネットワークアダプタをインストールしていて、内蔵ネットワークアダプタを無効にする場合：
 - a セットアップユーティリティ（80 ページを参照）を起動して、**Network Controller** を選択し、設定を **Off** に変更します。
 - b ネットワークケーブルをアドインネットワークアダプタのコネクタに接続します。ネットワークケーブルを背面パネルの内蔵コネクタに接続しないでください。
- 8 カードのマニュアルの説明に従って、カードに必要なすべてのドライバをインストールします。

PCI カードの取り外し

- 1 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。
- 3 カードブラケットから固定されているネジを外します。
- 4 カードの上端を持って、コネクタから取り外します。
- 5 カードを取り外したままにする場合、空のカードスロット開口部にフィラーブラケットを取り付けます。
フィラーブラケットが必要な場合、デルにお問い合わせください（88 ページを参照）。


 **メモ：**コンピュータの FCC 認証を満たすため、フィラーブラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィラーブラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。

 **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

- 6 コンピュータカバーを閉じ、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して電源を入れます。
- 7 カードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。
- 8 サウンドカードを取り外した場合
 - a セットアップユーティリティ（80 ページを参照）を起動し、**Audio Controller** を選び、設定を **On** に変更します。
 - b 外付けオーディオデバイスを、コンピュータ背面パネルのオーディオコネクタに接続します。
- 9 アドインネットワークコネクタを取り外した場合
 - a セットアップユーティリティ（80 ページを参照）を起動し、**Network Controller** を選び、設定を **On** に変更します。
 - b ネットワークケーブルをコンピュータの背面パネルの内蔵コネクタに接続します。

フロントパネル

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

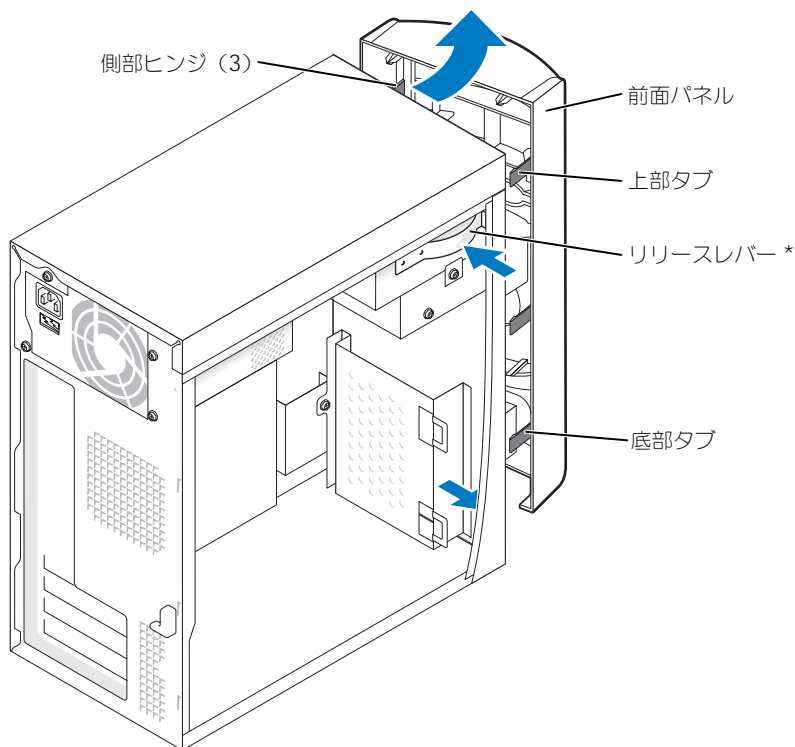
 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

フロントパネルの取り外し

- 1 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータカバーを取り外します（51 ページ参照）。

3 前面パネルを取り外します。

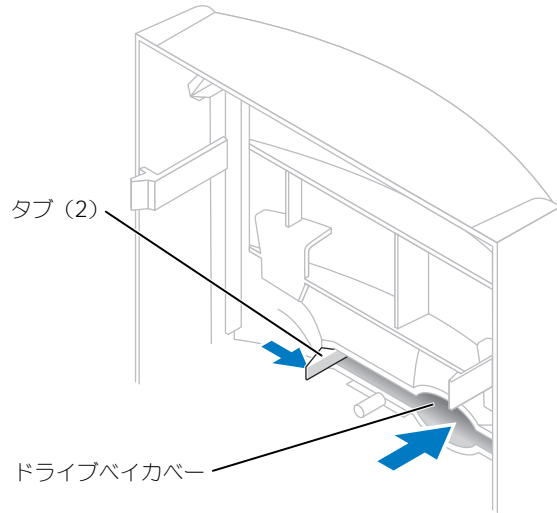
- a** コンピュータにリリースレバーがある場合、リリースレバーを押して上部タブを取り外します。
- b** コンピュータ内部に手を伸ばして上部および底部タブをご自身の方へ押し、タブを取り外します。
- c** 前面パネルを開いて側部ヒンジから取り外します。



* すべてのコンピュータに搭載されているわけではありません。

ドライブベイカバーの取り外し

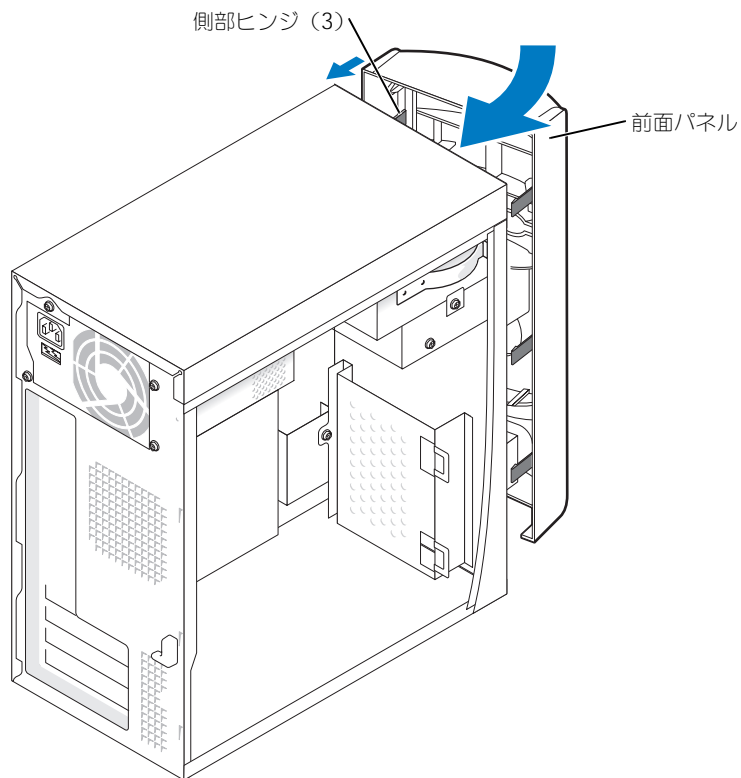
- 1 2つのドライブベイカバータブを押します。



- 2 ドライブベイカバーを押し出します。

前面パネルの再取り付け

- 1 前面パネルを側部ヒンジに再取り付けします。



- 2 前面パネルをコンピュータの前面にカチッと音がするまで動かして閉めます。

ドライブ

お使いのコンピュータは、以下のデバイスの組み合わせをサポートしています。

- 1 台のハードドライブ
- オプションのフロッピー 1 台
- 最高 2 台の CD または DVD ドライブ

一般的な取り付けガイドライン

IDE ハードドライブを PRI IDE とラベルのついたシステム基板コネクタに接続します。CD/DVD ドライブを J6J1 とラベルのついたコネクタに接続します。

2 台の IDE デバイスを単一の IDE インタフェースケーブルに接続してケーブルセレクト設定をすると、インタフェースケーブル上の末端のコネクタに接続されたデバイスは、プライマリまたは起動デバイス（ドライブ 0）となり、インタフェースケーブル上の中間のコネクタに接続されたデバイスはセカンダリデバイス（ドライブ 1）となります。デバイスのケーブルセレクト設定の方法については、アップグレードキットに付属しているドライブのマニュアルを参照してください。

ドライブケーブルの接続

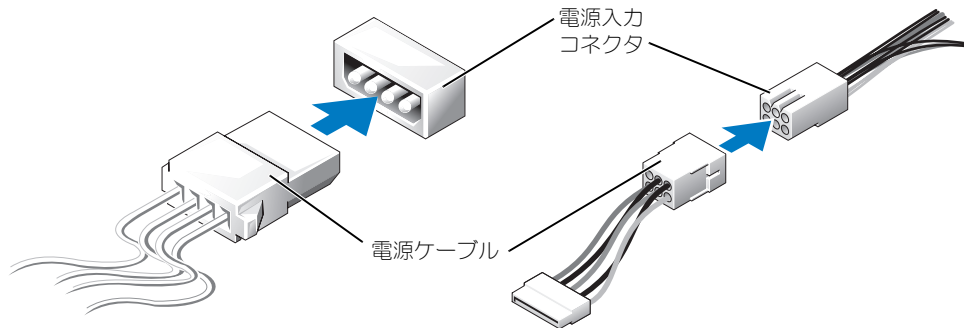
ドライブを取り付ける場合、2 本のケーブル（DC 電源ケーブルとデータケーブル）をドライブの背面およびシステム基板に接続します。ドライブにオーディオコネクタもある場合、オーディオケーブルの片方の端をドライブコネクタに取り付け、もう片方の端をシステム基板に取り付けます。

ドライブインタフェースコネクタ

ほとんどのインタフェースコネクタは、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタの切り込みやピンの欠けが、もう一方のコネクタのタブや差し込み穴と一致します。

IDE ケーブルを接続する際、色帯と 1 番ピンコネクタが一致しているか確認します。IDE ケーブルを外す際、色付けされたプルタブをつかみ、コネクタが外れるまで引っ張ります。

電源ケーブルコネクタ



ハードドライブ



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



警告：感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

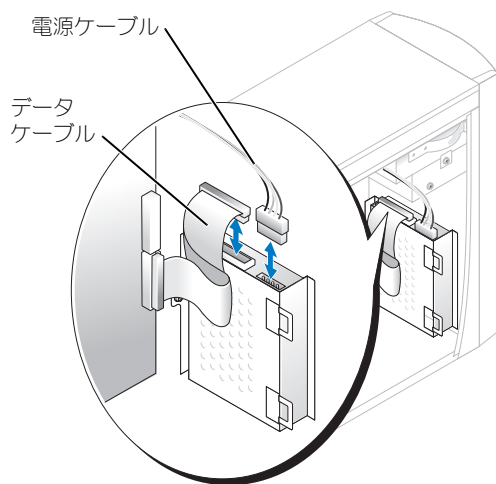


注意：ドライブへの損傷を避けるため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

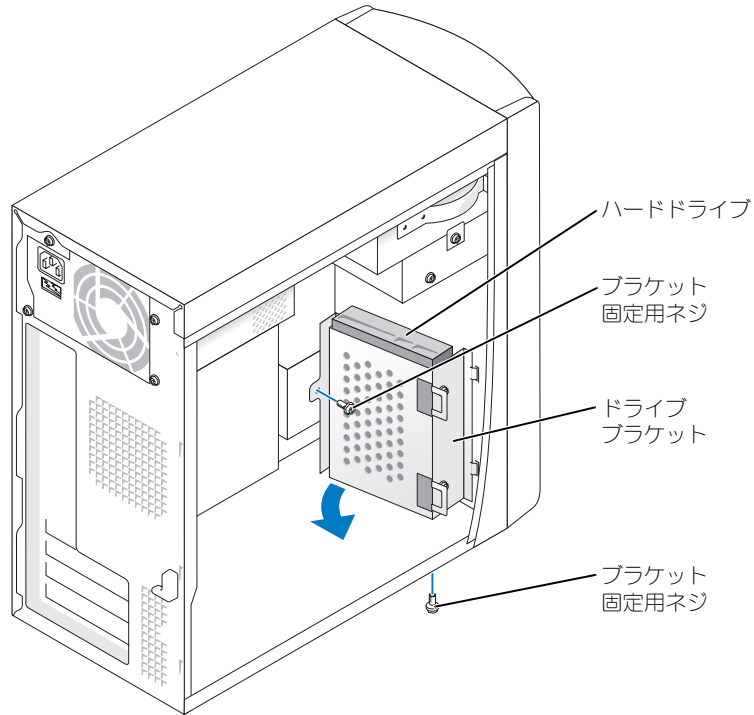
- 1 残しておきたいデータを保存しているハードドライブを交換する場合、ファイルのバックアップを取ってから、次の手順を開始します。
- 2 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 3 コンピュータカバーを取り外します（51 ページ参照）。

ハードドライブの取り外し

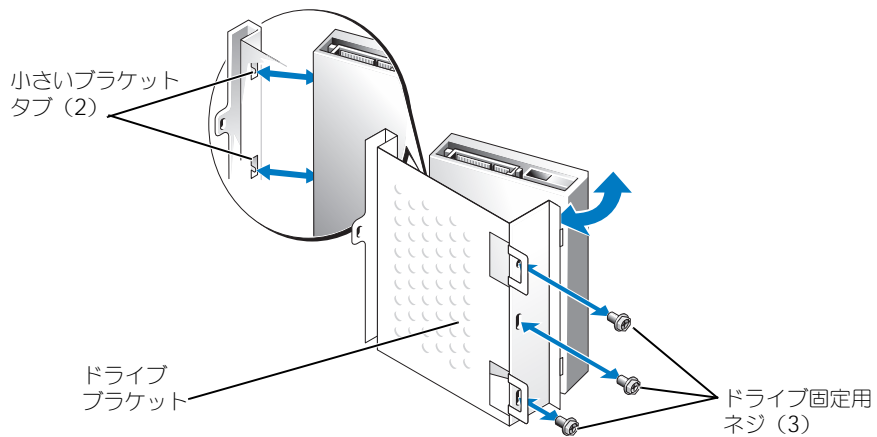
- 1 ドライブおよびシステム基板から電源ケーブルおよびデータケーブルを外します。




- 2 コンピュータからハードドライブブラケットを取り外します。
 - a ハードドライブのブラケット固定用ネジを外します。
 - b コンピュータからハードドライブのブラケットを取り外します。



- 3** ハードドライブを交換する場合、ドライブをブラケットから取り外します。
- a** ハードドライブ固定用ネジを外します。
 - b** ブラケットからハードドライブを取り外します。



ハードドライブの取り付け




- 1 交換用のハードドライブを梱包から取り出して、取り付けの準備をします。
- 2 ドライブのマニュアルを参照して、ドライブがお使いのコンピュータに合わせて設定されているか確認します。
- 3 ハードドライブブラケットを取り外します（65 ページを参照）。
- 4 ハードドライブをハードドライブブラケットに取り付けます。
 - a 小さいブラケットタブをドライブの片側にあるドライブ固定用ネジ穴の位置にセットします。
 - b ドライブをブラケットに向けて注意深く動かし、ドライブのもう片側にある 3 つのネジ穴をブラケットの穴に合わせます。
 - c ハードドライブブラケットをハードドライブに取り付けます。
 - d 3 つのドライブ固定用ネジをすべて挿入して強く締めます。
- 5 ハードドライブを取り付けます。
 - a 2 つのブラケットタブを追加のハードドライブ用のブラケット内部にあるドライブスロットの位置にセットします。
 - b ブラケットを前進させて追加のハードドライブ用のブラケットと平行になるようにします。
 - c ブラケット固定用ネジを元に戻します。
- 6 電源ケーブルをドライブに接続します。
- 7 データケーブルをドライブおよびシステム基板に接続します（53 ページを参照）。
- 8 コンピュータカバーを閉じます（76 ページを参照）。
-  **注意：** ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 9 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 10 取り付けたドライブがプライマリドライブの場合、起動フロッピーディスクをドライブ A に挿入します。
- 11 コンピュータの電源を入れます。
- 12 セットアップユーティリティ（80 ページを参照）を起動し、適切な **Drive** オプションを更新します。
- 13 セットアップユーティリティを終了して、コンピュータを再起動します。
- 14 次の手順に進む前に、ご使用のドライブにパーティションを作成し、論理フォーマットを実行します。

手順については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

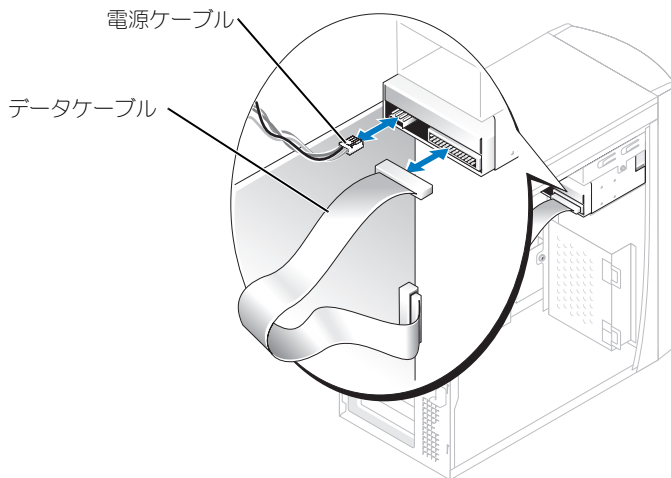
- 15 Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してハードドライブをテストします（35 ページを参照）。
- 16 取り付けたドライブがプライマリドライブの場合、そのハードドライブにオペレーティングシステムをインストールします。

フロッピードライブ

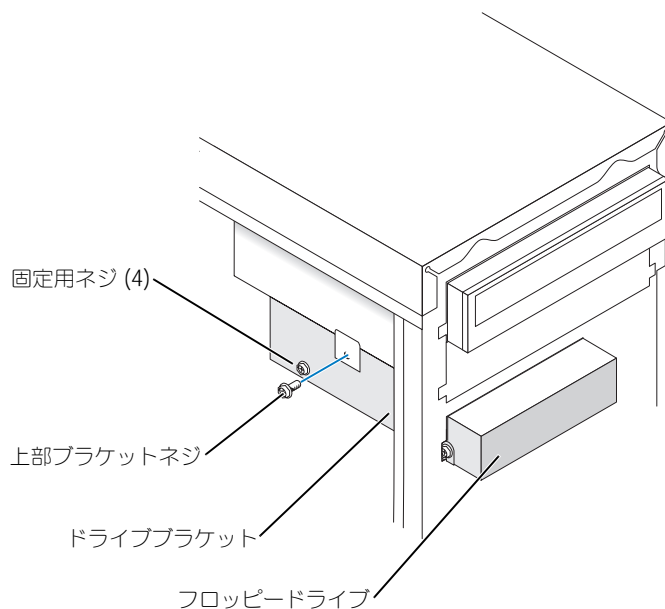
-  **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
-  **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 1 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
 - 2 前面パネルを交換および取り外します（60 ページを参照）。
-  **メモ：**フロッピードライブを取り付ける場合、69 ページの「フロッピードライブの取り付け」を参照してください。

フロッピードライブの取り外し

- 1 フロッピードライブおよびシステム基板から電源ケーブルおよびデータケーブルを外します（53 ページを参照）。



- 2 フロッピードライブブラケットをコンピュータから取り外します。
 - a フロッピードライブのブラケット固定用ネジを外します。
 - b フロッピードライブのブラケットをコンピュータから取り外します。



- 3 フロッピードライブをブラケットから取り外します。
 - a 4つのドライブ固定用ネジ（片側に2つずつ）をすべて外します。
 - b フロッピードライブをブラケットから取り外します。

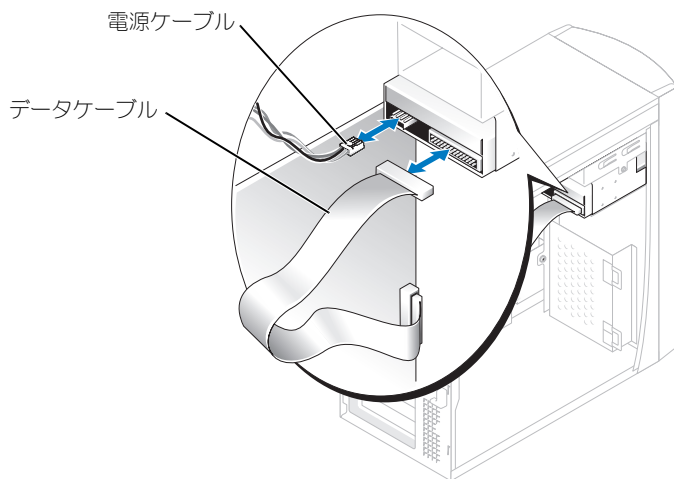
フロッピードライブの取り付け

- 1 フロッピードライブブラケットをコンピュータから取り外します（68ページを参照）。
- 2 フロッピードライブを交換する場合、ドライブをブラケットから取り外します（69ページを参照）。
- 3 フロッピードライブブラケットをフロッピードライブに取り付けます。
 - a ドライブのネジ穴をブラケットのネジ穴に合わせます。
 - b 4つのドライブ固定用ネジ（片側に2つずつ）をすべて挿入して強く締めます。
- 4 フロッピードライブブラケットの上部が上部ドライブベイの底部と完全に平行になるように位置を決めてから、フロッピードライブブラケットを所定の位置まで前方にスライドさせます。



メモ：フロッピードライブブラケットの上部には、上段のドライブベイの底部にある2つのクリップに収まる2つのスロットがあります。フロッピードライブブラケットが正しく装着されると、支えなしで所定の位置に収まります。

- 5 フロッピードライブブラケットをドライブに付属している上部ブラケットネジで固定します。
- 6 前面パネルを再取り付けします（63ページを参照）。
- 7 データケーブルをドライブの背面およびシステム基板上のフロッピードライブコネクタに接続します（53ページを参照）。



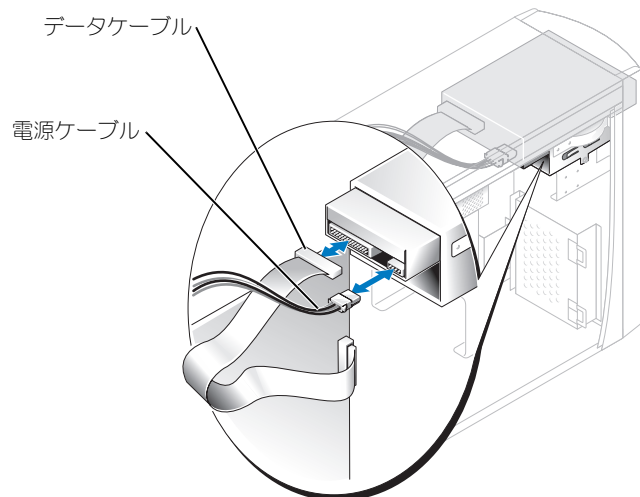
- ⚠ **注意：**ケーブルの色帯をドライブの1番ピンに合わせます（1番ピンは「1」と印が付いています）。
- 8 前面パネルを再取り付けします（63 ページを参照）。
- 9 コンピュータカバーを取り付けます（76 ページ参照）。
- ⚠ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルのプラグを壁のネットワークジャックに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 10 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 11 セットアップユーティリティ（80 ページを参照）を起動し、適切な **Diskette Drive** オプションをアップデートします。
- 12 Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、コンピュータが正しく動作するか確認します（35 ページを参照）。

CD/DVD ドライブ

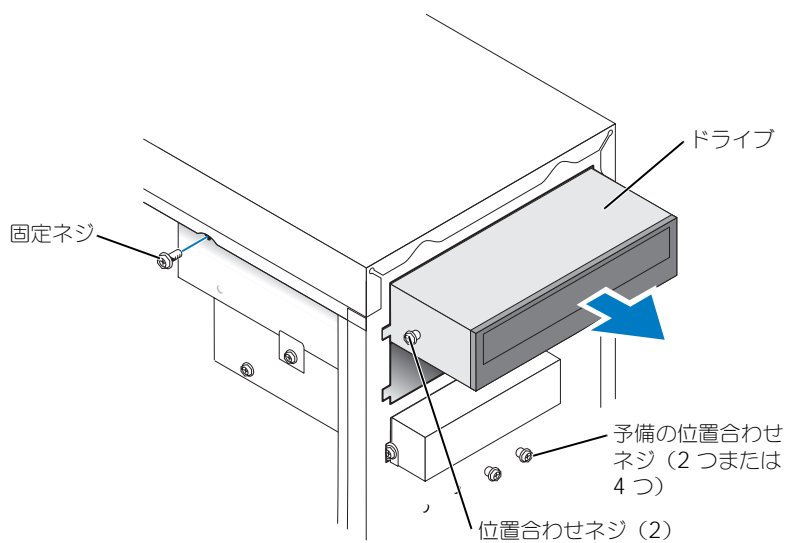
- ⚠ **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。
- ⚠ **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 1 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータカバーを取り外します（51 ページ参照）。
- 3 前面パネルを交換および取り外します（60 ページを参照）。

CD/DVD ドライブの取り外し

- 1 電源、オーディオ、および CD/DVD ドライブケーブルをドライブの背面およびシステム基板から外します。



- 2 CD/DVD ドライブ固定用ネジを外します。
- 3 ドライブを前方にスライドさせ、ドライブベイから取り外します。

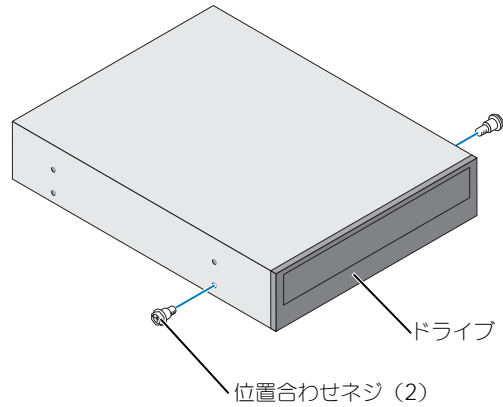


CD/DVD ドライブの取り付け

- 1 新しいドライブを取り付ける場合、ドライブを梱包から出し、取り付けの準備をします。
ドライブに付属のマニュアルを参照して、ドライブがお使いのコンピュータに合わせて設定されているか確認します。IDE ドライブを取り付ける場合は、ドライブをケーブルセレクトに設定します。
- 2 ドライブを交換する場合、既存のドライブを取り外します（70 ページを参照）。
- 3 ドライブをドライブベイの所定の位置に注意深くスライドさせます。
- 4 ドライブを所定の位置にセットした後、ドライブが完全に装着されるように力を加えます。
- 5 ドライブに付属している固定ネジを使って、ドライブをコンピュータに取り付けます。
- ➡ **注意：**ケーブルの色帯をドライブの 1 番ピンに合わせます（1 番ピンは「1」と印が付いています）。
- 6 電源ケーブルをシステム基板に接続します（53 ページを参照）。
- 7 電源および CD/DVD ドライブケーブルをドライブおよびシステム基板に接続します（53 ページを参照）。
- 8 専用のコントローラカードを持つドライブを取り付ける場合、コントローラカードはカードスロットに取り付けます。
- 9 前面パネルを再取り付けします（63 ページを参照）。
- 10 コンピュータカバーを取り付けます（76 ページ参照）。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 12 セットアップユーティリティ（80 ページを参照）を起動し、適切な **Drive** オプションを選択します。
- 13 Dell Diagnostics（診断）プログラム（35 ページを参照）を実行してお使いのコンピュータが正常に動作しているか確認します。

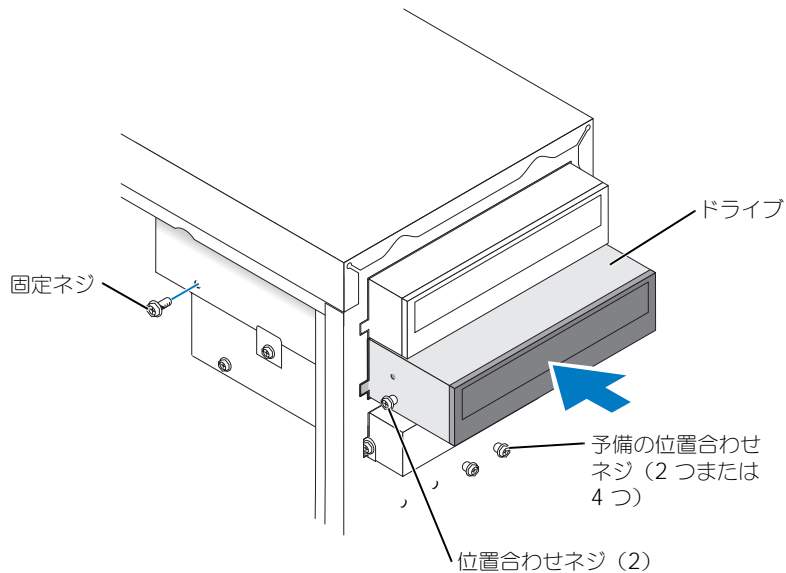
2 台目の CD または DVD ドライブの追加

- 1 新しいドライブのジャンパ設定が「cableselect」に設定されているか確認します（詳細については、ドライブに付属しているマニュアルを参照）。
- 2 73 ページに図示されている 2 つの余分な位置合わせネジをコンピュータの前面から外し、ドライブに挿入します。



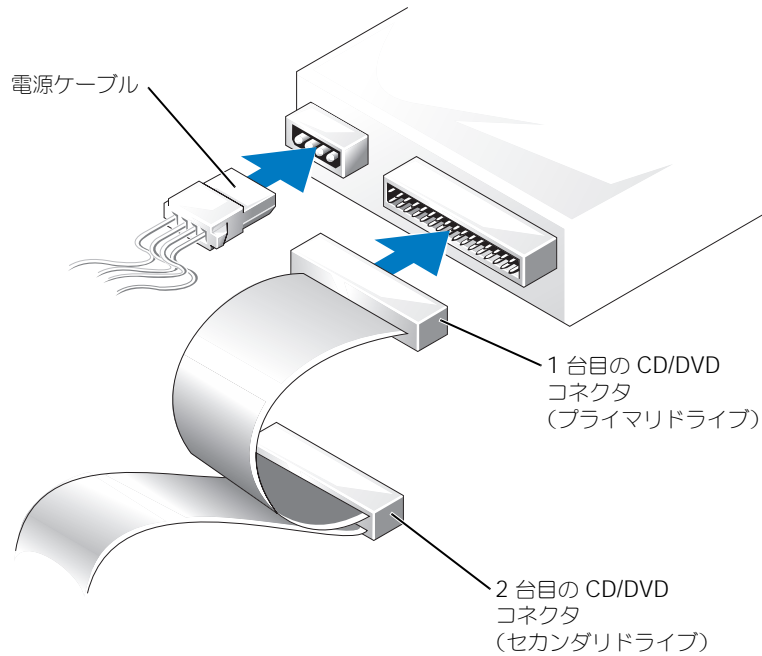
メモ：コンピュータには、2または4本の予備の位置合わせネジが付いています。この手順では、2本の位置合わせネジを使用します。

- 3 ドライブをドライブベイの所定の位置に注意深くスライドさせます。



- 4 ドライブを所定の位置にセットした後、ドライブが完全に装着されるように力を加えます。
 - 5 ドライブに付属している固定ネジを使って、ドライブをコンピュータに取り付けます。
- 注意：**ケーブルの色帯をドライブの1番ピンに合わせます (1番ピンは「1」と印が付いています)。
- 6 電源ケーブルをシステム基板に接続します (53 ページを参照)。

- 7 上段のドライブベイの CD/DVD ドライブのデータケーブルを確認して、中間のデータコネクタを新しいドライブに接続します。



- 8 前面パネルを再取り付けします (63 ページを参照)。
- 9 コンピュータカバーを取り付けます (76 ページ参照)。
- 注意：** ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 10 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 11 ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

バッテリー



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



注意：コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時間の情報を保持します。バッテリーの寿命は数年間です。

コンピュータを起動後に、何度も時刻と日付の情報をリセットしなければならないような場合は、バッテリーを交換します。



警告：新しいバッテリーを取り付ける場合、正しく取り付けてください。破裂する場合があります。交換するバッテリーは、メーカーが推奨する型、または同等の製品をご利用ください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

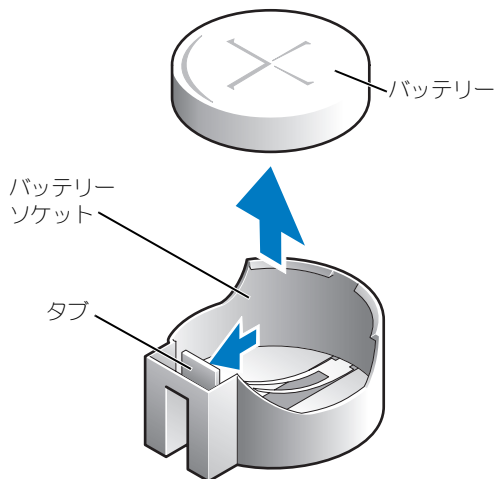
バッテリーを取り付けるには、次の手順を実行します。

- 1 セットアップユーティリティのすべての画面を記録しておく（81 ページを参照）、手順 8 で正しい設定に復元することができます。
- 2 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 3 バッテリーソケットを確認します（53 ページの「システム基盤コンポーネント」を参照）。



注意：道具（先端の鋭くないものを使用してください）を使用して、バッテリーをソケットから取り出す場合は、道具がシステム基板に触れないよう注意してください。必ず、バッテリーとソケットの間に道具を確実に挿入してから、バッテリーを外してください。これを怠ると、ソケットが外れたり、システム基板の回路を切断するなど、システム基板に損傷を与える恐れがあります。

- 4 プラスチック製のドライバなどのように先端部の鋭くない非導電性の道具、または指を使ってバッテリーをバッテリーソケットから取り外します。
- 5 バッテリーの「+」側を上に向けて新しいバッテリーをソケットに挿入し、バッテリーを所定の場所にカチッとはめ込みます。



- 6 コンピュータカバーを取り付けます (76 ページ参照)。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 7 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 8 セットアップユーティリティを起動して (81 ページを参照)、手順 1 で記録した設定に戻します。
- 9 古いバッテリーを適切に廃棄します (『製品情報ガイド』の「バッテリーの廃棄」を参照)。

コンピュータカバーの交換

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 すべてのケーブルがしっかり接続され、ケーブルが邪魔にならない場所に束ねられているか確認します。
電源ケーブルがドライブの下に挟まらないように、電源ケーブルを慎重に手前に引きます。
- 2 コンピュータの内部に工具や余った部品が残っていないか確認します。
- 3 カバーをコンピュータの上に置きます。
- 4 カバーが所定の位置に完全に収まるまで、カバーをコンピュータの前面にスライドします。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 5 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

付録

仕様

マイクロプロセッサ

プロセッサの種類	HT テクノロジ Intel® Pentium® 4 および Intel Celeron® メモ ：すべての Pentium 4 プロセッサが、ハイパースレッディングテクノロジーをサポートしているわけではありません。
L1 (レベル 1) キャッシュ	8 KB
L2 (レベル 2) キャッシュ	128 KB または 512 KB (コンピュータ構成に応じて) パイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエティブ、ライトバック SRAM

メモリ

タイプ	333 MHz と 400 MHz の DDR SDRAM メモ ：Celeron 400MHz FSB プロセッサで構成されている場合、DDR333 および DDR400 メモリは 266MHz で動作します。 メモ ：Pentium 4 800MHz FSB プロセッサで構成されている場合、DDR333 メモリは 320MHz で動作します。
メモリのコネクタ	2 つ
メモリ容量	128、256、512、または 1 GB 非 ECC
最小メモリ	128 MB メモ ：システムメモリのサイズおよびその他の要素に応じて、1 ~ 64 MB のシステムメモリがグラフィックスのサポートに割り当てられています。
最大搭載メモリ	2 GB
BIOS アドレス	F0000h

コンピュータ情報

チップセット	Intel 865 GV
DMA チャンネル	7
割り込みレベル	24
BIOS チップ (NVRAM)	4 Mb

コンピュータ情報 (続き)

NIC	10/100 通信が可能なオンボードネットワークインタフェース
システムクロック	Intel Pentium 4 : 800 MHz Intel Celeron : 533 MHz

ビデオ

タイプ	オンボード Intel Extreme Graphics 2
-----	--------------------------------

オーディオ

タイプ	AC97、SoundBlaster Emulation、ADI 1980 オーディオコントローラ (2.1 インプリメンテーション)
-----	--

拡張バス

バスのタイプ	PCI
バス速度	33 MHz

PCI

コネクタ	3 つ
コネクタサイズ	120 ピン
コネクタデータ幅 (最大)	32 ビット

ドライブ

外部アクセス用 :	フロッピードライブ用の 1 つのベイ、および CD/DVD ドライブ用の 2 つのベイ
-----------	---

利用可能なデバイス	フロッピードライブ、USB メモリデバイス、CD ドライブ、CD-RW ドライブ、DVD ドライブ、DVD-RW ドライブおよび、DVD/CD-RW コンボドライブ
-----------	--

内部アクセス用 :	高さ 1 インチの IDE ハードドライブ用の 1 つのベイ
-----------	--------------------------------

コネクタ

外付けコネクタ :	
シリアル	9 ピンコネクタ、16550C 互換
パラレル	双方向 25 ピンコネクタ (メス)
ビデオ	15 ピンコネクタ (メス)

コネクタ (続き)

ネットワークアダプタ	RJ45 コネクタ
PS/2 (キーボードおよびマウス)	6 ピンミニ DIN
USB	2 つの前面パネルおよび 4 つの背面パネルの USB 2.0 対応コネクタ
オーディオ	ライン入力、ライン出力、およびマイク用の 3 つのコネクタ、ヘッドフォン用の 1 つの前面パネルコネクタ

システム基板コネクタ :

プライマリ IDE ドライブ	PCI ローカルバスに 40 ピンコネクタ
セカンダリ IDE コネクタ	PCI ローカルバスに 40 ピンコネクタ
フロッピードライブ	34 ピンコネクタ
CD オーディオ	4 ピンコネクタ
ファン	3 ピンコネクタ

ボタンとライト

電源ボタン	押しボタン
ハードドライブライト	緑色
リンク保全ライト (内蔵ネットワークアダプタ上)	10 Mb 動作で点灯なし、100 Mb 動作で緑色
動作ライト (内蔵ネットワークアダプタ上)	黄色の点滅ライト
診断ライト	背面パネル上の 4 つのライト

電源

DC 電源装置 :

ワット数	250 W
熱消費	853 BTU/時 (モニターなしのフル装備のコンピュータ)
電圧 (重要な電源設定情報については、『製品情報ガイド』の安全に関する指示を参照してください。)	固定電圧電源装置 — 60 Hz で 100 ~ 120 V; 50 Hz で 200 ~ 240 V
バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

寸法	
高さ x 幅 x 奥行き	41.9 x 18.1 × 36.8 cm
重量	11.34 kg
環境	
温度：	
動作時	10°～ 30°C メモ ：30 °Cで最大動作高度 914 m
保管時	- 40 °C～ 65 °C
相対湿度	20 ～ 80 %（結露しないこと）
最大耐久震度：	
動作時	0.25 G（3 ～ 200 Hz、0.5 オクターブ / 分）
保管時	2.20 Grms（10 ～ 500 Hz、1 オクターブ / 分）
最大耐久衝撃：	
動作時	105 G、2 ミリ秒
保管時	32 G（596.9 cm/ 秒の速度変化）
高度：	
動作時	-15.2 ～ 3048 m メモ ：30 °Cで最大動作高度 914 m
保管時	-15.2 ～ 10,670 m

セットアップユーティリティ

概要

セットアップユーティリティの使い方：

- ハードウェアを追加、変更、取り外した後に、システム設定情報を変更する場合
- ユーザーパスワードなどユーザー選択可能オプションを設定または変更する場合
- 現在のメモリの容量を調べたり、取り付けられたハードドライブの種類を設定する場合

セットアップユーティリティを使用する前に、セットアップユーティリティ画面情報を後で参照できるようにメモしておくことをお勧めします。



注意：コンピュータに関する知識が十分でない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティの起動

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 青色の DELL™ のロゴが表示された場合、すぐに <F2> を押します。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして（45 ページを参照）もう一度やりなおしてみます。

セットアップ画面

セットアップ画面は、お使いのコンピュータの現在のまたは変更可能な設定情報を表示します。画面
上の情報は、オプションリスト、アクティブオプションフィールド、キーファンクションの 3 つの領
域に分かれます。

Options List — このフィールドは、セットアップユーティリティウィンドウの左側に表示されます。このフィールドは、取り付けられたハードウェア、省電力機能、およびセキュリティ機能を含む、コンピュータの構成を定義するオプションを表示する、スクロール可能なリストです。

上矢印キーおよび下矢印キーを使用してスクロールアップおよびスクロールダウンします。オプションがハイライト表示されている場合、

Option Field には、そのオプション、および現在の設定と使用可能な設定についての詳細が表示されます。

主なオプションフィールドを開いたり閉じたりするには、<Enter> を押します。

Option Field — このフィールドには、各オプションについての情報が表示されます。このフィールドでは、現在の設定を参照したり、設定を変更したりできます。

左右矢印キーを使用して、オプションをハイライト表示します。<Enter> を押して、選択を有効にします。

Key Functions — このフィールドは、**Option Field** の下に表示され、キーおよびそれらのファンクションのリストがアクティブなセットアップユーティリティフィールドに表示されます。

セットアップオプション



メモ：お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスに応じて、この項に一覧表示された項目とは異なる場合があります。

System	
System Info	コンピュータ名、BIOS バージョン番号および日付、システムタグやその他のシステム固有情報などシステム情報のリストを示します。
CPU Info	コンピュータのプロセッサがハイパースレッディングをサポートしているかどうかを識別し、プロセッサバス速度、プロセッサ ID、クロック速度、L2 キャッシュのリストを表示します。
Memory Info	取り付けられているメモリの量、メモリ速度、チャンネルモード（デュアル/シングル）、取り付けられているメモリのタイプを示します。
Date/Time	現在の日付および時刻設定を表示します。
Boot Sequence	<p>コンピュータはこのリストで指定したデバイスの順番で起動を試みます。</p> <p>メモ：起動デバイスを挿入して、コンピュータを再起動した場合、このオプションはセットアップユーティリティのメニューに表示されます。USB メモリデバイスから起動するには、USB デバイスを選んで移動し、一覧の最初のデバイスにします。</p>
Drives	
Diskette Drive	システム基板の FLOPPY コネクタに接続されているフロッピードライブを識別し、 Off 、 USB 、 Internal 、もしくは Read Only と定義します。
Drives 0 through 3	システム基板上の PRI IDE コネクタに取り付けられたドライブを識別し、ハードドライブに関する性能を一覧表示します。
Onboard Devices	
NIC Controller	NIC は On （デフォルト）、 Off 、 On w/ PXE に設定できます。 On w/ PXE 設定がアクティブ（将来の起動プロセスにのみ使用可能）な場合は、<Ctrl><Alt> を押すように指示されます。このキーの組み合わせを押すと、ネットワークサーバーから起動方法を選択できるメニューが表示されます。起動ルーチンがネットワークサーバーから使用できないと、コンピュータは起動順序リストの次のデバイスからの起動を試みます。
Audio Controller	オンボードオーディオコントローラを有効または無効にします。
USB	<p>On（デフォルト）に設定すると、USB デバイスが検出され、オペレーティングシステムでサポートされます。</p> <p>No Boot オプションはドライブデータへの外部アクセスを禁止します。このオプションでは、ユーザーが外部 USB デバイスを使用してコンピュータを起動することを禁止します。</p>

Mouse Port	オンボード PS/2 対応マウスコントローラを有効または無効にします。
LPT Port Mode	パラレルポート設定を識別および定義します。パラレルポートは、 Off 、 AT 、 PS/2 、 EPP 、 ECP に設定できます。
LTP Port Address	パラレルポートのアドレスを識別します。
LPT Port DMA	パラレルポート DMA 設定を識別および定義します。パラレルポート DMA は、 Off 、 DMA1 、 DMA3 に設定できます。
Serial Port #1	シリアルポート設定を識別および定義します。デフォルト設定の Auto は、コネクタを自動的に特定のポートに設定します (COM1 または COM3)。
Video	
Primary Video	この設定は、コンピュータにビデオコントローラが 2 つある場合、どちらをプライマリにするかを指定します。
Video Memory Size	オンボードビデオコントローラ用のシステムメモリの量を設定します。
Performance	
Hyperthreading	お使いのコンピュータのプロセッサがハイパースレッディングに対応している場合、 Options List にこのオプションが表示されます。
Performance	<ul style="list-style-type: none"> • Bypass — お使いのコンピュータは、現在の音響効果モード設定をテストまたは変更しません。 • Quiet (デフォルト) — ハードドライブは、最も低いアコースティック設定で動作します。 • Suggested — ハードドライブは、製造元で推奨されたレベルで動作します。 • Performance — ハードドライブは、最高速度で動作します。 <p>メモ：Performance モードに切り替えると、ドライバの騒音が大きくなる場合がありますが、性能には影響ありません。</p> <p>メモ：アコースティック設定を変更しても、ハードドライブイメージは変わりません。</p>
Security	
Admin Password	このオプションは、 System Password オプションでシステムへのアクセスを制限するのと同じ方法で、コンピュータの セットアップ ユーティリティへのアクセスを制限します。
System Password	システムのパスワードセキュリティ機能の現在の状態が表示され、新しいシステムパスワードを設定したり確認することができます。
Password Status	このオプションは、システムパスワードフィールドをセットアップパスワードでロックします。このフィールドがロックされていると、コンピュータを始動する際に <Ctrl><Enter> を押してパスワードセキュリティを無効にするオプションは使用できません。

Power Management	
AC Recovery	コンピュータに AC 電源が回復した場合にどうするかを決定します。
Auto Power On	コンピュータが自動的にオンになるように設定します。 毎日 または 平日 （毎週月曜日から金曜日）を選択できます。 デフォルト設定は、 Off です。 この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。
Auto Power Time	コンピュータを自動的にオンにする時間を設定します。 時間は 24 時間形式（時間：分）で表示されます。左右矢印キーを押して、数値を増やしたり減らしたりするか、日付と時間のフィールドの両方に数値を入力して、起動する時間を変更します。 この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。
Low Power Mode	Low Power Mode が選択されている場合、リモートウェイクアップイベントは、 Hibernate または Off から起動しません。
Remote Wake Up	このオプションを使用すると、NIC または Remote Wakeup 対応モデルがウェイクアップ信号を受信したときにコンピュータの電源が入ります。 On がデフォルト設定です。 On w/ Boot to NIC の場合、コンピュータは、起動順序を使用する前に、ネットワークから起動しようとしています。 メモ ：通常、コンピュータは、サスペンドモード、休止状態モード、または電源が切れている状態からリモートに電源を入れることができます。 Low Power Mode (Power Management メニュー) が有効な場合、コンピュータは、 Suspend からのみリモートで起動できます。
Suspend Mode	このオプションは、低電力モードで実行するサスペンド状態である S1 、およびほとんどのコンポーネントの電源は削減または切られるが、システムメモリはアクティブになるスタンバイ状態である S3 です。
Maintenance	
CMOS Defaults	この設定は、コンピュータの出荷時のデフォルト状態に戻します。
Event Log	システムイベントログを表示します。
BIOS Update	BIOS の新しいバージョンをダウンロードしたら、このオプションを使用して、BIOS のアップデートファイルのロケーションを識別および定義します。このオプションは、 Diskette または Disk です。
POST Behavior	
Fastboot	On （デフォルト）に設定されていると、いくつかの設定およびテストを省略するので、お使いのコンピュータは迅速に起動します。

Numlock Key	このオプションは、キーボード上の右端列のキーに関連しています。 On (デフォルト) に設定されている場合、各キー上部に表示されている数値および数学機能がアクティブになります。 Off に設定されている場合、各キー下部にラベルが付けられているカーソルコントロール機能がアクティブになります。
OS Install	この設定は、 OS Install Mode を On または Off (デフォルト) に切り替えます。
POST Hotkeys	このオプションでは、コンピュータ起動時に画面に表示されるファンクションキーを指定できます。
Keyboard Errors	このオプションは、コンピュータ起動時のキーボードエラーレポートを無効または有効にします。

起動順序

この機能を使って、デバイスの起動順序を変更します。

オプション設定

- **Diskette Drive** — コンピュータはフロッピードライブからの起動を試みます。ドライブ内のフロッピーディスクが起動用でない場合、フロッピーディスクがドライブにない場合、またはフロッピードライブがコンピュータに取り付けられていない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **Hard Drive** — コンピュータはプライマリハードドライブからの起動を試みます。オペレーティングシステムがドライブにない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **CD Drive** — コンピュータは CD ドライブからの起動を試みます。ドライブに CD がない場合、あるいは CD にオペレーティングシステムがない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **USB Flash Device** — USB ポートにメモリデバイスを挿入し、コンピュータを再起動します。画面の右上隅に F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12> を押します。BIOS がデバイスを認識し、USB フラッシュオプションを起動メニューに追加します。



メモ：USB デバイスから起動するには、デバイスが起動可能である必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能であるか確認してください。

現在の起動の起動順序の変更

この機能を使用すると、例えば、フロッピードライブ、メモリキー、または CD-RW ドライブなどの USB デバイスにお使いのコンピュータを再起動できます。




メモ：USB フロッピードライブから起動する場合、セットアップユーティリティでフロッピードライブを OFF にする必要があります (80 ページを参照)。

- 1 USB デバイスから起動する場合、USB デバイスを USB コネクタに接続してください (53 ページを参照)。
- 2 コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。

- 3 画面の左上角に F2 = Setup, F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12> を押します。
ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示された場合、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして（45 ページを参照）もう一度やりなおしてみます。


使用可能な起動デバイスをすべて一覧表示した、**Boot Device Menu** が表示されます。各デバイスには、横に番号があります。

- 4 メニューの一番下で、現在の起動のみに使用されているデバイスの数を入力します。
たとえば、USB メモリキーから起動する場合、**USB Flash Device** をハイライト表示して、<Enter> を押します。

 **メモ**：USB デバイスから起動するには、デバイスが起動可能である必要があります。デバイスが起動可能であるかを、デバイスのマニュアルで確認してください。

将来の起動の起動順序の変更

- 1 セットアップユーティリティを起動します（80 ページを参照）。
- 2 矢印キーを使って **Boot Sequence** メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押してメニューにアクセスします。

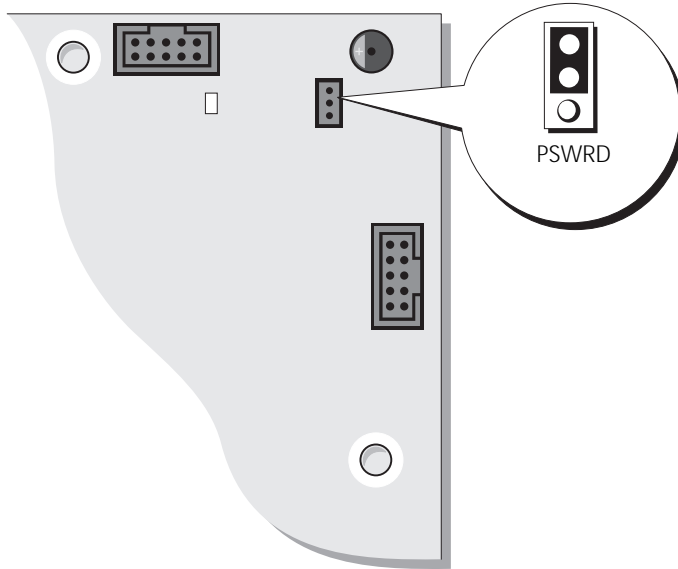
 **メモ**：後で元に戻すこともできるよう、現在の起動順序を書きとめます。

- 3 デバイスのリスト内を移動するには、上下矢印キーを押します。
- 4 スペースバーを押して、デバイスを有効または無効にします（有効になっているデバイスにはチェックマークが付いています）。
- 5 選択したデバイスをリストの上または下に移動するには、プラス（+）またはマイナス（-）を押します。


忘れたパスワードの消去

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。


- 1 45 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。



- 2 システム基板（53 ページを参照）の 3 ピンパスワードジャンパ（PSWRD）の位置を確認し、2 番ピンおよび 3 番ピンジャンパプラグを取り付けて、パスワードを消去します。

 **メモ：**お使いのコンピュータは出荷時に、1 番ピンおよび 2 番ピンにジャンパプラグが取り付けられています。

- 3 コンピュータカバーを閉じます（76 ページを参照）。
- 4 コンピュータとモニターをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 5 Microsoft® Windows® デスクトップがお使いのコンピュータに表示された後、コンピュータをシャットダウンします。（45 ページを参照）。
- 6 モニターの電源を切って、コンセントから外します。
- 7 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
- 8 コンピュータカバーを開きます（76 ページを参照）。
- 9 システム基板の 3 ピンパスワードジャンパの位置を確認し、（53 ページを参照）1 番ピンおよび 2 番ピンジャンパプラグを取り付けて、パスワード機能を再び有効にします。
- 10 コンピュータカバーを取り付けます（76 ページを参照）。

 **注意：**ネットワークケーブルに接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- www.dell.com/jp
- support.jp.dell.com (テクニカルサポート)

デルへお問い合わせになる場合は、次の表の E- メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方に関しては、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国 (市) 国際電話アクセスコード 国番号市外局番	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよび E- メールアドレス	市内番号 フリーダイヤル
日本 (川崎) 国際電話アクセスコード： 001 国番号： 81 市外局番： 44	ウェブサイト： support.jp.dell.com テクニカルサポート (Dimension™ および Inspiron™) 日本国外のテクニカルサポート (Dimension および Inspiron) Fax 情報サービス 24 時間納期情報案内サービス カスタマーケア ビジネスセールス本部 (従業員数 400 人未満) 法人営業本部 (従業員数 400 人以上) エンタープライズ営業本部 (従業員数 3500 人以上) 官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス デルグローバルジャパン 個人のお客様 代表	フリーダイヤル：0120-198- 226 81-44-520-1435 044-556-3490 044-556-3801 044-556-4240 044-556-1465 044-556-3433 044-556-3430 044-556-1469 044-556-3469 044-556-1760 044-556-4300

索引

B

BIOS, 80

C

CD, 14

CD のコピー

一般的な情報, 14

手順, 14

便利なヒント, 15

CD/DVD ドライブ

2 台目の取り付け, 72

動作ライト, 48

取り付け, 72

取り外し, 70

取り出しボタン, 48

問題, 18

CD-RW ドライブ

問題, 18

D

Dell

Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 35

Dell Dimension ヘルプ

ファイル, 7

お問い合わせ, 88

サポートサイト, 8

DVD, 14

DVD ドライブ

問題, 18

DVD のコピー

一般的な情報, 14

手順, 14

便利なヒント, 15

E

E-メール

問題, 19

I

IEEE 1394

問題, 21

M

Microsoft Windows ラベル,

8

P

PC の復元, 40

PCI カード

取り付け, 58

取り外し, 60

S

support.jp.dell.com, 8

U

USB

コネクタ, 48, 50

デバイスに起動, 85

W

Windows XP

システムの復元, 39

スキャナー, 28

デバイスドライバのロール

バック, 38

ネットワークセットアップ

ウィザード, 12

ハイパースレッディング, 16

プログラム互換性ウィザード,

23

ヘルプとサポートセンター, 8

あ

安全にお使いいただくための

注意, 7

い

インターネット

接続, オプション, 12

接続, セットアップ, 13

接続, バージョン情報, 12

問題, 19

う

ウィザード

ネットワークセットアップ

ウィザード, 12

プログラム互換性ウィザード,

23

え

- エラーメッセージ
 - バージョン情報, 20
 - 診断ライト, 31
- エンドユーザーライセンス同意書, 7

お

オーディオ。サウンドを参照

か

- カード
 - PCI, 57
 - PCI Express スロット, 50
 - PCI スロット, 50
 - PCI の取り付け, 58
 - PCI の取り外し, 60
 - サポートされているタイプ, 57
 - スロット, 50, 57

カバー

- カバーラッチ, 50
- 交換, 76
- 取り外し, 51

画面。モニターを参照

き

- キーボード
 - コネクタ, 50
 - 問題, 22

起動

- USB デバイス, 85
- 起動順序, 85
 - オプション設定, 85
 - 変更, 85-86

こ

- コネクタ
 - USB, 48, 50
 - キーボード, 50
 - サウンド, 49-50
 - シリアル, 50
 - 電源, 50
 - ネットワークアダプタ, 49
 - パラレル, 49
 - ビデオ, 50
 - ヘッドフォン, 48
 - マイク, 50
 - マウス, 49
 - モデム, 50
 - ライン出力, 50
 - ライン入力, 49

コンピュータ

- 応答しない, 22
- クラッシュ, 22-23
- 内部のコンポーネント, 52
- 内面図, 52
- 以前の状態への復元, 39

さ

- サービスタグ, 8, 48
- サウンド
 - ボリューム, 28
 - 問題, 28

サウンドコネクタ

- ライン出力, 50
- ライン入力, 49

サポート

- デルへのお問い合わせ, 88

し

- システムの復元, 39
- システム基盤, 53

仕様, 77

診断

- Dell, 35
 - ライト, 31, 49
- 診断ライト, 31

す

- スキャナー
 - 問題, 28
- スピーカー
 - ボリューム, 28
 - 問題, 28

せ

- 製品情報ガイド, 7
- 設定
 - セットアップユーティリティ, 80
- セットアップ図, 7
- セットアップユーティリティ, 80
 - オプション, 82
 - 画面, 81
 - 起動, 81

そ

- ソフトウェア
 - ハイパースレッディング, 16
 - 問題, 23-24

て

- ディスクのチェック, 19
- 電圧選択スイッチ, 50

電源

- コネクタ, 50
- ボタン, 48
- ライト, 48
- 問題, 26

電源ライト

- 状態, 26

と

ドライバ

- 識別, 37
- 説明, 37

ドライブ

- 2台目のCD/DVDドライブ, 72

- CD/DVDの取り付け, 72
- CD/DVDの取り外し, 70
- ハードドライブ, 65
- ハードドライブの取り付け, 67
- ハードドライブの取り外し, 65
- フロッピーの取り付け, 69
- フロッピーの取り外し, 68
- 問題, 17

トラブルシューティング

- Dell Diagnostics (診断) プログラム, 35
- ハードウェアのトラブルシューティング, 43
- 以前の状態への復元, 39
- 以前の状態へ復元, 39
- 診断ライト, 31
- ヒント, 17
- ヘルプとサポートセンター, 8

に

- 認可機関の情報, 7

ね

ネットワーク

- コネクタ, 49
- セットアップ, 11
- ネットワークセットアップウィザード, 12
- 問題, 25

ネットワークセットアップ

- ウィザード, 12

は

ハードウェア

- Dell Diagnostics (診断) プログラム, 35

ハードドライブ

- 動作ライト, 48
- 取り付け, 67
- 取り外し, 65
- 問題, 19

ハイパースレッディング, 16

パスワード

- ジャンパ, 86
- 消去, 86

バッテリー

- 交換, 75
- 問題, 17

ひ

ビデオ

- コネクタ, 50
- 問題, 29

ふ

部品の取り付け

- コンピュータの電源を切る, 45
- 作業を開始する前に, 45
- 奨励するツール, 45

プリンタ

- USB, 10
- ケーブル, 10
- パラレル, 11
- プリンタの接続
- セットアップ, 10
- 問題, 27
- プログラム互換性ウィザード, 23

フロッピードライブ

- 動作ライト, 48
- 取り付け, 69
- 取り外し, 68
- 取り出しボタン, 48

フロントパネル

- 取り外し, 60

へ

ヘッドフォン

- コネクタ, 48

ヘルプとサポートセンター, 8

ヘルプファイル

- Dell Dimension ヘルプ, 7
- Windows ヘルプとサポートセンター, 8

ほ

ボリューム

- 調整, 29

ま

マイク

- コネクタ, 50

マウス

- コネクタ, 49
- 問題, 25

前面パネル
ドライブベिकाバー, 62
マザーボード, 53
マニュアル
安全性, 7
エンドユーザーライセンス
同意書, 7
オンライン, 8
情報の検索方法, 7
セットアップ図, 7
認可機関, 7
Dell Dimension ヘルプ
ファイル, 7
製品情報ガイド, 7

め

メッセージ
エラー, 20
メモリ
増設, 54
問題, 24

も

モデム
コネクタ, 50
問題, 19
モニター
ブランク, 30
見づらい, 30
問題, 29

問題

CD ドライブ, 18
CD-RW ドライブ, 18
Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 35
DVD ドライブ, 18
E-メール, 19
IEEE 1394, 21
インターネット, 19
エラーメッセージ, 20

キーボード, 22
コンピュータが応答しない, 22
コンピュータが
クラッシュする, 22-23
コンピュータクラッシュ, 22
サウンドおよびスピーカー,
28
スキャナー, 28
全般的な問題, 22
ソフトウェア, 23-24
電源, 26
電源ライトの状態, 26
ドライブ, 17
トラブルシューティングの
ヒント, 17
ネットワーク, 25
ハードドライブ, 19
バッテリー, 17
ビデオとモニター, 29
プリンタ, 27
ブルースクリーン, 23
プログラムが応答しない, 23
プログラムが
クラッシュする, 23
プログラムと Windows の
互換性, 23
ボリューム調整, 29
メモリ, 24
モデム, 19
モニターがブランク, 30
モニターが見づらい, 30
以前の状態への復元, 39
画面がブランク, 30
画面が見づらい, 30
診断ライト, 31

ら

ライト

CD/DVD ドライブ動作, 48
コンピュータの背面, 31
診断, 31, 49
電源, 48
ハードドライブ動作, 48
フロッピードライブ動作, 48

ラベル

Microsoft Windows, 8
サービスタグ, 8, 48